

【平成30年度総括報告】

「公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会」として7年目を迎え、地域の聴覚障害者当事者団体として運動と事業を担いながらこの1年間活動を推進してきました。以下のとおり報告いたします。

【全国の運動】

一般財団法人全日本ろうあ連盟は、加盟団体と共に手話言語法制定運動を展開し、国に対して「手話言語法」（仮称）の早期制定を求めて現在も運動を継続しています。手話言語条例については、平成30年度も地方自治体に於いて次々と制定され、平成31年3月29日現在、26県5区192市39町1村の計263自治体で手話言語条例が制定されています。全国手話言語市区長会は544市区長の入会があり、兵庫はすべての市（29市）が加入しています。また、「情報・コミュニケーション法」（仮称）の制定も課題として取り組みがされています。

旧優生保護法による障害者の強制不妊手術について、全日本ろうあ連盟は、聴覚障害者の被害の実態調査の方針を打ち出し、連盟加盟団体を中心に被害の実態調査を始めました。その調査結果、連盟としての見解を公表しています。

中央省庁や一部自治体で障害者の雇用数の水増しが長年行われていた事が発覚しました。国が率先して障害者雇用を進めるべきであるにもかかわらず、障害者雇用を不適切にごまかしていたことはあってはならないことです。あらためて障害者差別や優生思想をなくしていくための取り組みが重要になっています。

【兵庫の運動】

引き続き、現在の役員体制のもと、聴覚障害者が安心して暮らせる社会の実現に向けて引き続き運動と事業の推進に取り組んでいるところです。

「手話言語条例」制定に関しては、平成30年4月よりたつの市・尼崎市・赤穂市・南あわじ市・伊丹市・朝来市で施行されています。また、平成30年度中に市議会で手話言語条例を可決した市は、相生市です。県内は24自治体（23市1町）で手話言語条例が制定されており、全国的に見ても手話言語条例の制定が最も多い県であります。施行後の手話言語に係る施策を推進していくことも重要な課題です。今後も県及び未制定の市町に手話言語条例が制定されるよう県下各ろうあ協会、手話関係者等とともに、議会や行政に働きかけるとともに条例が施行されている市町に対して施策が広まるよう連携していきましょう。なお、兵庫県手話言語条例（仮称）の制定については、まだ実現されておらず、引き続き働きかけていきます。

会員拡大については昨年比10名減少の759名でした。会員の減少にはさまざまな要因がありますが、社会不況による経済的な理由や人間関係、団体の必要性が見えないなどが挙げられます。会員数の減少は運動の後退につながるため、当法人と県下各ろうあ協会が連携しながら課題の克服に取り組むたいと思います。

旧優生保護法による聴覚障害者の強制不妊手術、断種、中絶の問題について、全日本ろうあ連盟から被害実態の調査依頼を受け、調査を実施しました。その結果、全日ろう連の被害者数139名の内、14名が兵庫となっています。また、旧優生保護法を施行した国に対して、子どもを産む権利や育てる権利を奪われた障害者が全国各地で提訴しており、兵庫からも2組の聴覚障害者夫婦と脳性麻痺の女性が訴訟行動を始めており、当協会としても支援に取り組んでいます。

ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業では、第20期研修生のスニタ・タパ（ネパ

ール)を受け入れ、協会の運営する各事業所において研修を実施しました。

日本聴力障害新聞の取り組みは、目標(読者数 1,006部)のところ550部で未達成ですが、少しずつ購読を増やしています。季刊みみの購読も併せて今後とも拡大にご協力をお願いします。

【協会の事業】

公益社団法人に移行して7年目を迎えました。兵庫県ろうあ者大会や兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどいをはじめ各種行事を実施しました。

兵庫県立聴覚障害者情報センター、たじま聴覚障害者センター、はりまふくろうの家、にしのみや聴覚障害者センター、たつのころうあハウス、たつのご工房、ひょうご聴覚障害者介護支援センターの運営事業に関しても行政機関をはじめ関係機関、地域ろうあ協会等と連携を図りながら、円滑な運営に努めています。社会福祉の現状は厳しいものがあり、例えば、はりまふくろうの家はこれまで通所していた障害者が65歳になると本人の意思とは関係なく、利用の減少や打ち切りをし、介護保険のサービス利用を強いられる問題があります。兵庫県立聴覚障害者情報センターにおいては県からの運営費の据え置きが続いています。各事業所においても安定した運営が課題となっています。今後も聴覚障害者の権利と生活を守りながら、さまざまな課題の解消に向けて取り組んでいきます。

【今後の取り組み】

当協会に結集する仲間を増やすために会員拡大や組織強化に取り組んでいきます。その一つとして赤穂市の聴覚障害者有志による協会設立の支援要請があり、当協会と西播ろうあ団体連絡会が設立に向けて支援を行ってきました。基盤が固まり2019年度には赤穂ろうあ協会が再結成する予定です。

当協会の運動や事業の指針となっている平成25年に行った「聴覚障害者の実態と生活ニーズ実態調査」の結果では、地域・家族・教育・医療・労働など、さまざまな場面で聴覚障害者の貧困・孤立・差別が浮き彫りになっています。この問題を解消するためには、実態調査の「今後の提言」に基づき、地域の聴覚障害者総合福祉センター(仮称)や障害児通所支援等の社会資源の創出を含めて取り組んで行く必要があります。

神戸市において神戸ろうあハウスの移転を含む「神戸市聴覚障害者総合福祉センター」(仮称)の設置をめざして、募金活動等の取り組みを展開しています。また、県では、聞こえない乳幼児の手話獲得支援のための事業を当協会と準備を進めています。

聴覚障害者のための社会資源は、まだまだ少ないのが実状です。手話言語条例も含めて私たちは、地域の聴覚障害者が安心して手話で豊かなコミュニケーションができる事業所などの拠点を創出していく必要があります。

今後とも聴覚障害者に対する理解を広め、社会参加を促進し、聴覚障害者及び手話を学ぶ者をはじめ、県民すべてに聴覚障害関連及び福祉の増進に関する事業を行い、社会福祉の発展に寄与してまいりますので引き続きご支援ご協力をお願いします。

公一 聴覚障害者の福祉向上のための事業

(概要)

聴覚障害者の生活支援や文化的活動および手話通訳者等の養成・派遣、一般企業や障害者事業所を利用されることが困難な障害者に就労、生きがいの場の提供、調査研究などを通じて聴覚障害者の福祉向上を図っている。

1. 手話通訳者などの講師養成事業

県及び市町村レベルの手話奉仕員・手話通訳者養成講習会の指導者を養成する。

(1) 手話奉仕員養成事業講師講習会

ア. 開催期間：入門編 平成30年7月20日（火）～11月17日（火）全15回

イ. 開催場所：神戸市立総合福祉センター

ウ. 受講人数：33名（ろう者17名、聞こえる人16名） 【修了者32名】

(2) 手話通訳者養成事業講師研修会

ア. 開催期間：手話通訳Ⅱ 平成31年2月27日（火）～3月27日（水）5回（中止）

イ. 開催場所：神戸市立総合福祉センター

2. 手話学習会

(1) 手話対策部学習会

県内の手話対策部長や関係者が集い、学習や情報・意見交換を行うと共に今後の運動に結びつけていく。

ア. 開催日時：平成30年1月6日（土）

イ. 開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

ウ. 参加人数：5名

エ. 情報意見交換「兵庫県内の手話通訳派遣制度、手話通訳者統一試験、手話検定について」

3. 講師派遣事業

手話講座を主催している団体（学校、手話サークル等）からの要請に応じて、講師を派遣。

(1) 内容

手話奉仕員養成・通訳者養成講座（実技、講義）、手話通訳者現任研修会、手話言語法・条例、兵庫県の災害と防災について、聴覚障害者支援事業について、ろうあ運動、相談支援研修会など

(2) 派遣回数 198件/909回

小学校 1件/1回、高等学校 3件/13回、大学 3件/78回、奉仕員養成（実技）4件/61回、奉仕員養成（講義）16件/43回、レベルアップ講座 7件/89回、通訳者養成 5件/216回、通訳者養成（講義）9件/28回、統一試験対策 10件/51回、登録試験 1件/1回、現任研修会 13件/67回、講師研修会 1件/1回、職員等研修会 15件/34回、学習会 12件/21回、講演・シンポジウム 21件/23回、難聴・中途失聴者関係 12件/16回、はじめての手話入門 19件/25回、若者向け手話講座 30件/119回、出前手話講座 16件/23回

(3) 講師

当法人理事、認定手話通訳者、登録講師

(4) 講師研修会

- ア. 開催日時：平成31年1月12日（土）
- イ. 開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター
- ウ. 参加人数：62名
- エ. テーマ「手話や聞こえないことを広めるために」

4. 手話通訳認定事業

(1) 手話通訳者派遣事業の円滑な運営を図るため、実技及び面接などによる選考を行い、合格した手話通訳者を当協会の認定手話通訳者として登録する。

- ア. 開催日時：平成31年2月23日（土）9時半～12時半
- イ. 開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター
- ウ. 受験者数：7名
- エ. 合格者数：2名

5. 手話通訳者派遣事業

(1) 認定手話通訳者派遣

- ア. 派遣回数 705件 / 1425名

(2) 認定手話通訳者研修会

第1回研修会

- ・日 時 平成30年5月27日（土）
- ・場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
- ・出席者 25名
- ・内 容 平成29年度、兵聴協派遣事業報告・反省
平成30年度兵聴協活動方針・事業計画について

第2回研修会

- ・日 時 平成30年12月22日（土）
- ・場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
- ・出席者 21名
- ・内 容 派遣事業の現状報告
通訳現場における注意事項の確認（企業研修等）
聴覚障害者の強制不妊手術の実態調査の結果と裁判支援

6. ろうあ兵庫

平成30年度の「ろうあ兵庫」編集活動においては、兵聴協として重点的に取り組んでいる事項についてトップページに掲載しました。各部の記事については定期的に情報を掲載してきました。掲載については、前年度に続き、各部ごとに半ページに縮小し、空白・無駄を省き、読みやすいようにフォントの統一などを図りました。また、編集の体制を整え、発行日である毎月の1日に読者にお届けできるよう努めてまいりました。今後とも、聴覚障害者福祉の向上及び啓発のため、ろうあ運動を**中心**に掲載してまいりたいと思います。

主な内容

- ・4月号 第457号：労働・福祉について考える 等 (12頁)
- ・5月号 第458号：これからの福祉は、人間愛の3Kで 等 (12頁)
- ・6月号 第459号：強制不妊手術における実態調査の学習会が開かれる！ 等 (12頁)
- ・7月号 第460号：第66回全国ろうあ者大会が大阪城ホールにて開催！ 等 (14頁)
- ・8月号 第461号：第35回兵庫県ろうあ者大会 in 川西が無事開催されました！ 等 (12頁)
- ・9月号 第462号：～旧優生保護法の見えない影～
聴覚障害者の強制不妊手術被害者に明石市長が面談 等 (14頁)
- ・10月号 第463号：近畿各地から青年が集い、空の大冒険！！
～第34回近畿ろうあヤングフェスティバル in 兵庫～ 等 (12頁)
- ・11月号 第464号：全国初！“優生保護法による不妊手術・
中絶手術に対する国家賠償請求訴訟” 等 (14頁)
- ・12月号 第465号：課題への取り組みをともに 等 (14頁)
- ・1月号 第466号：新年のあいさつ、各協会祝賀広告 等 (14頁)
- ・2月号 第467号：第45回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい in 宍粟 等 (12頁)
- ・3月号 第468号：第22回ろう教育学習会 等 (12頁)

7. 調査研究事業

(1) 旧優生保護法に基づく強制不妊手術等の実態調査（福祉対策部）

平成30年3月23日、(一財)全日本ろうあ連盟より、旧優生保護法に基づく強制不妊手術、断種手術、中絶手術の実態調査の依頼を受け、当協会としまして、4月11日より社福や兵通研、県サ連とともに、「兵庫県における聴覚障害者の被害実態」を調査することになりました。5月1日に学習を開催して「全日ろう連からの実態調査依頼について」「兵庫の体験者からの報告」「今後の調査活動等の計画について」取り組んでまいりました。全日ろう連及び兵聴協等からの調査実施の状況を分析し、それぞれの事業の現状や問題点・課題などを各協会に配布しました。

(2) 県内手話言語条例制定の自治体に対する調査（手話対策部）

手話言語条例における県内41市町の取り組みのアンケート聞き取りを行い、その結果、手話言語条例を施行している24市町の実施状況を分析し、それぞれの事業の現状や課題を含めた評価を各協会に配布しました。

(3) 手話協力員実態調査（労働対策部）

平成30年度の調査研修の内容は、改正障害者雇用促進法がスタートして3年が経ち、各地のハローワークの障害者担当部門や障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターといった障害者を対象とした就労支援機関には、聴覚障害者の就労問題に的確に対応できる専門家がほとんどいない中で奮闘している手話協力員に対しアンケートを実施しました。その内容を各協会に配布しました。

8. ろうあ相談員等研修事業(生活問題対策事業)

(1) 生活問題対策部会議

第1回生活問題対策部会議

- ・日 時：平成30年5月19日（土）午後1時半～3時半
- ・場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 交流サロン室

- ・出席者：7名
- ・報告内容：旧優生保護法にかかる強制不妊手術における実態調査について
「つながり作り情報交換会」の実施について
兵庫県より「障害者等による情報の取得及び利用並びに意思疎通の手段の確保に関する条例」について、各地域の情報交換及びに相談に関する意見交換
「旧優生保護法にかかる強制不妊における実態調査」の学習会
目的は、ろう者にも多くの被害者がいることを示すことで、国が実施しようとしている調査の対象者に現時点では聴覚障害者が含まれていない。実名で一覧を作成することではなく、数字を把握し、国に示す必要がある。
- ・日時：平成30年5月1日（火）午後6時45分～9時
- ・会場：神戸市障害者福祉センター4階 会議室AB
- ・内容：「全日ろう連からの実態調査依頼について」
「兵庫の体験者からの報告」
「今後の調査活動などの計画について」
説明担当：（一財）全日本ろうあ連盟理事 大竹氏
報告担当：兵庫の体験者支援者 大矢氏、仲井氏

- ・出席者：80名

第2回生活問題対策部会議

- ・日時：平成30年11月10日（土）午後1時半～3時半
- ・場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 交流室
- ・出席者：8名
- ・報告内容：福祉対策部からの連絡、各地域の情報交換及びに相談に関する意見交換、その他

第3回生活問題対策部会（兵庫県立聴覚障害者情報センター共催）

- ・日時：平成31年3月23日（土）午後1時半～4時
- ・場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室
- ・出席者：60名（内、生活問題対策のメンバー6名）
- ・報告内容：「聴覚障害者と防災」について（兵庫県立聴覚障害者情報センター企画）
講演：「呉地域聴覚障害者防災連絡協議会の取り組み」について
※講演が終了後、生活問題対策部会議を実施する予定でしたが、時間の都合で取りやめました。

9. 手話普及啓発事業

（1）若者対象手話講座の実施

県内の高等学校、大学に在籍する学生を対象に聴覚障害者への理解促進と手話の普及に向け、講座を開催しました。

【回数】119回

【内容】講義（聴覚障害について、聞こえない人の暮らしについて 等）

手話講座

（2）出前手話講座の実施

県内の施設、団体、企業等で勤める職員等を対象に聴覚障害者への理解促進と手話の普及に向け、講座を開催しました。

【回数】23回

【場所】ホテル、事業所、団体等

【内容】講義（聴覚障害について、聞こえない人の暮らしについて等）

手話講座、接客方法の体験等

(3) 講師スキルアップ講座の開催

ア. 手話通訳者養成講座（通訳Ⅰ・Ⅱ）指導のレベルアップ

平成31年2月9日（土）～3月9日（土） 全7回

「手話通訳士倫理綱領」「事例検討」 講師：梅本悦子氏

「見て要約」「場面通訳」 講師：坂井田美代子氏

イ. 統一試験について

平成31年2月27日（水）～3月27日（水） 全4回

「手話通訳者が知っておきたい知識とは?」「全国手話通訳者統一試験の概要、ポイント」

ワークショップ（手話要約、場面通訳） 講師：小出新一氏

(4) 手話通訳者レベルアップ講座の開催

手話通訳者をめざす人の通訳レベルアップを図るための講座を開催しました。

平成30年10月15日（月）～11月23日（祝）

4会場（神戸3カ所、豊岡1）×各5回 計20回

受講者 37名

10. たじま聴覚障害者センター

(1) 就労継続支援B型事業

平成30年度は、従来の通り障害者総合支援法のうち就労継続支援B型事業を利用して但馬地域に在住する障害者のうち、主に聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と請負作業、施設外就労等の就労の場を提供し、その利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を実施しました。

ア. 日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く） 午前9時～午後5時

イ. 場所

豊岡市城南町23番6号 豊岡健康福祉センター2階

ウ. 定員・利用実績

19名・延べ3,584名

エ. 作業内容

- ・請負作業：ポリちぎり作業、自動車部品ゴムバリちぎり作業、牛革製品両面テープ貼り作業
ランドセル手縫い工程作業
- ・自主作業：アルミ缶、段ボール、新聞紙回収・自主製品製作、販売

オ. その他

創作活動、学習会、手話カフェ（月1回）、医師による健康診断（年1回）、看護師による健康相談（月1回）、歯科衛生士による口腔衛生指導（月1回）、健康まちづくり指導員による体操教室（月2回）

を実施しました。

(2) 相談支援事業

平成30年度は、従来の通り豊岡市内在住の障害者、障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、利用等の立場に立った適切な指定計画相談支援事業を実施しました。

ア. 日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く） 午前9時～午後5時

イ. 場所

豊岡市城南町23番6号 豊岡健康福祉センター2階

ウ. 件数

- ・インテーク、アセスメント 84件
- ・モニタリング 323件
- ・基本相談 1件

(3) 児童通所支援事業

児童福祉法のうち、児童発達支援事業、放課後等デイサービスを利用して豊岡市内に在住する障害児が日常生活における基本的動作指導、集団生活への適応訓練、生活向上のために必要な支援など実施しました。

ア. 日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く） 午前10時～午後5時

イ. 場所

豊岡市城南町23番6号 豊岡健康福祉センター2階

ウ. 定員・利用実績

- ・延べ37名（児童発達支援）、延べ533名（放課後等デイサービス）

(4) 意思疎通支援事業

平成30年度は、従来の通り但馬地域における聴覚障害者の生活とその福祉の向上のため、手話通訳者等養成および要約筆記者派遣事業を受託して実施しました。

ア. 豊岡市手話奉仕員養成事業

- ・日程：7月21日（導入課程・全1回）
- ・場所：豊岡健康福祉センター
- ・受講者数：21名
- ・日程：8月4日～10月27日（入門課程のみ・全24回）
- ・場所：豊岡健康福祉センター
- ・受講者数：24名

イ. 養父市朝来市合同手話奉仕員養成事業

- ・日程：5月15日～10月23日（入門課程のみ・全21回）
- ・場所：八鹿公民館
- ・受講者数：20名

ウ. 香美町手話奉仕員養成事業

- ・日程：6月1日～12月21日（基礎課程のみ・全25回）
- ・場所：香住区中央公民館、香住文化会館
- ・受講者数：10名

工. 新温泉町手話奉仕員養成事業

- ・日程：6月14日～12月6日（入門課程のみ・全21回）
- ・場所：浜坂多目的集会施設
- ・受講者数：15名

才. 豊岡市要約筆記者派遣事業

- ・派遣実績：11件

力. 豊岡市登録手話通訳者現任研修

- ・日程：7月27日、8月24日、9月28日、10月12日、11月16日（全5回）
- ・場所：豊岡健康福祉センター
- ・受講者数：延べ38名

11. はりまふくろうの家

平成30年度は、障害者総合支援法の就労継続支援B型事業を利用して、姫路市近郊に在住する聴覚障害者のうち、就職が困難な人たちに自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように通所による就労の機会を提供し、下請作業や生活に関する情報や学習会等の活動を通じて、その知識及び能力の向上のための訓練等を行いました。

姫路市が進める65歳以上の障害者を介護保険サービスに移行させる問題(65歳問題)により、姫路市内在住の65歳以上の利用者の支給量に制限があり、当事業所に通いたくても通えないという状況があります。姫路市としては、70歳で就労継続支援B型事業の利用が打ち切り(利用終了)としており、2019年度に1名、その後2020年～2022年の間で3名が70歳となるため、就労継続支援B型事業の利用打ち切りが見込まれています。きょうされん(成人期の障害のある人たちが、地域で働く・活動する・生活することを応援する事業所の全国組織)兵庫支部の中部ブロック会議に出席し情報交換や、きょうされん兵庫支部より、県と姫路市へ要望書を提出されています。

(1) 日時

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後4時30分

(2) 場所

姫路市東延末2-51 中川ビル1F 事業所内・外

(3) 定員・利用実績

18名・延べ1,605名

(4) 作業内容

ア. 請負作業：箸入れ、昆布の袋詰め、素麺の箱折り等

イ. 自主作業：おにぎり・お弁当、お菓子、畑作業

月曜日と金曜日はA型事業所の利用者さん向けにお弁当の定期配達、木曜日は市役所ロビー（3回/月→2回/月に変更）、やすこやかセンター（1回/月）で姫路作業所連絡会の加盟事業所としてハートフルショップで販売しており、ほぼ完売しています。また、兵庫県聴覚障害者文化祭や姫路作業所連絡会主催の「ひめされんまつり」では炊き込みご飯やいなり寿司等を出店販売しました。地域の子供会の行事では、おにぎり注文が恒例となっています。店頭販売での注文は減少傾向にあります。こわれ奉天（かりんとう）に加え、年度の後半から、野菜クッキーなどお菓子の製造販売を開始しました。

(5) その他

平成 30 年 4 月に 2 名(知的障害)の入所がありましたが、うち 1 名が自己都合により退所。平成 31 年 3 月に週 3 回通所の利用者(知的障害)が入所。また、65 歳問題で 65 歳以上の利用者の通所日数の提供日数が減らされていることも収入減につながっています。

利用者減少にともない、請負作業の車部品のバリを取る作業を終了しました。昆布の袋詰めの内職と契約しましたが単価が安く、大幅な収入減となりました。

おにぎり・お弁当事業は物価高騰の為、弁当箱の大きさの見直し、購入先の見直しを行い節約しました。姫路作業所連絡会の加盟団体が増えたため、市役所ロビー販売が月 3 回→月 2 回に減少、すこやかセンター販売を月 1 回で販売することになり収入減になっています。

12. にしのみや聴覚障害者センター

障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターとして、2014 年 4 月に開所。平成 30 年度は、西宮市在住の聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むため、日常生活に関する学習や悩み事相談、その他の機会を提供しました。また、当事業所に通う仲間たちが共通するコミュニケーションを通して、共に学び会い、支え合う場として活動しました。

(1) 日時

月曜日～金曜日 10 時 ～ 16 時

(2) 場所

西宮市馬場町 5-7 メゾン・カトー 201 号室 事務所内

(3) 定員・利用実績

10 名・延べ 1,621 名

(4) 作業内容

請負作業：ハートボールプロジェクト、封入作業 他

(5) その他

ア. 野外活動

- ・姫路の様々な施設へ学習・交流（市内のろうあ協会・手話サークル会員と共に）
- ・災害対策学習（人と防災未来センター・西宮市総合防災訓練）

イ. 手話サロンの取り組み

市内のろうあ協会・手話サークル会員へ声を掛け、手話サロンを年 12 回開催。冷麺を参加者と共に調理。西宮市総合福祉センターの障害者スポーツ事業係の方にご協力いただいて、フライングディスク大会を開催。手話サークルの日に合わせ交流をし、多くの方にご参加いただきました。

13. 尼崎聴覚障害者センター

(1) たつのころうあハウス（就労継続支援 B 型事業）

主にろう重複障害者や、就労・生活に困難を抱える聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、請負作業、自主製品、施設外就労等の就労の場を提供し、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を行います。「できないことをできるようにする」をモットーに、ひとりひとりの障害やコミュニケーション方法にあわせた支援を行っています。30 年度は基本報酬が 4 月に改定され、仲間に支払う工賃の金額に応じて報酬が 7 段階に分けられ、たつのこでは、ろう重複障害者が半数を占め更

に高齢化しつつあるなかで、日々作業に追われる中、更に工賃を上げるのは容易ではなく、この1年は工賃のことを考えながら作業提供してきましたが、いろんな面で支援が必要な仲間たちを作業のみでなく、相談や話し相手になったり楽しいこともあったりというように仲間にとって居場所であり続けることが大切だと思っています。

ア. 日時

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（仲間の作業は10時～15時半）
土・日・祝の開所日あり（不定期）

イ. 場所

尼崎市立花町4-8-12

ウ. 定員・利用実績

20名・延べ4004名

エ. 作業内容

- ・請負作業：紙袋作業、ラベル貼り作業・チラシ作業・箱折・販売用セット・ネジ・新聞作業
- ・自主作業：自主製品製作（ポップリールムービー）販売
- ・施設外：（情報センター掃除・ポスティング・草抜き）
- ・体験実習：県立尼崎北高校、国立障害者リハビリセンター、神戸聴覚特別支援学校、ダスキン障害者研修

オ. その他

仲間の親の多くが80代になり、親元を離れて障害福祉サービスなどあらゆる制度を利用して自立した生活を送ることができるよう働きかけをしました。

(2) たつのこ工房（地域活動支援センター）

ア. 日時

月曜日～金曜日 10時～16時

イ. 場所

尼崎市立花町2-6-23

ウ. 定員・利用実績

14名・延べ1,456名

エ. 作業内容

請負作業：うどん製造・販売／ダッタンそば茶袋詰め入れ／乾燥糸こんにゃく袋詰め入れ
施設外作業：ポスティング・イベントでのうどん販売

オ. その他

- ・地域防災訓練に参加して聴覚障害者への理解を求めると同時に啓発を行いました。
- ・市役所の出前講座等を利用し、日常生活に関する学習会を開催しました。
- ・利用者の持病に関する知識を一緒に学び、時には通院介助をしました。
- ・簡単に作れる手工芸（ハーバリウム、ちりめん細工）を楽しみました。
- ・利用者の得意料理を習ったり、各自が好きな具材を選んでお鍋を作りました。
季節に合ったメニュー（バレンタイン、クリスマス、流しそうめん）を考えて買い物をしたり、みんなで一緒に調理しながら食材への知識を学び、仲間意識を高めました。

公一 2 兵庫県立聴覚障害者情報センター運営事業

身体障害者福祉法第34条に定める聴覚障害者情報提供施設の機能を有し、聴覚障害者の社会参加と自立を援助し、生活・文化の向上と福祉の増進を図ることを目的に運営を行いました。

設置：兵庫県・神戸市

運営（指定管理者）：公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

設置場所：神戸市灘区岸地通1-1-1 神戸市立灘区民ホール2F

開館日及び時間 月、火、水、金、土 午前9時～午後6時

1. 意思疎通支援事業

(1) 手話通訳者養成研修事業

ア. 手話通訳者養成事業

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を持ち、兵庫県認定手話通訳者を目指す人を対象に養成講座を実施しました。

・通訳Ⅰ

日時：6月21日（木）～3月28日（木）全36回

開催地：三田市

受講者：12名（うち修了者11名）

・通訳Ⅱ

日時：6月5日（火）～2月12日（火）全34回

開催地：赤穂市

受講者：9名（うち修了者8名）

・通訳Ⅲ

日時：10月5日（金）～3月15日（金）全10回

開催地：加古川市

受講者：6名（うち修了者3名）

イ. 全国手話通訳者統一試験事業

・開催日：平成30（2018）年12月1日（土）

合格発表：平成31（2019）年3月11日（月）

会場：兵庫県中央労働センター

受験者：120名

合格者：26名

・手話通訳者全国統一試験対策講座（直前）

開催日：11月20日（火）10:00～16:00

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内容：手話の要約 場面の通訳、筆記問題（過去問）

受講者：80名

(2) 要約筆記者養成研修事業

ア. 要約筆記者養成事業

・要約筆記者養成講座 パソコンコース（後期）

日 時：5月12日（日）～11月10日（日）・12月16日 全13回（51時間）

会 場：豊岡市

受講者：10名（うち修了者9名）

- ・要約筆記者養成講座 手書きコース・パソコンコース（前期）

日 時：10月14日（日）～3月24日（日）全15回（30時間）

会 場：川西市

受講者：21名（手書き4名、パソコン12名、両方5名）

- ・要約筆記フォローアップ講座（手書きコース・パソコンコース）

日 時：合同1月19日（土）、手書き2月2日（土）、パソコン2月9日（土）

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

受講者：67名

- ・要約筆記者指導者養成研修（聴力障害者情報文化センター主催分）

日 程：ステップアップコース 手書きコース 10月12日～14日 3日間

ステップアップコース パソコンコース 11月16日～18日 3日間

会 場：全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）

受講者：手書きコース1名 パソコンコース1名

イ. 全国統一試験要約筆記者認定試験

日 時：平成31年2月17日（日）

会 場：兵庫県立のじぎく会館

受験者：85名（手書きのみ25名、PCのみ36名、両方24名）

(3) 手話通訳者派遣事業

ア. 登録状況

登録状況(手話通訳) 平成30年12月31日現在

337名（認定登録62名、B登録98名、C登録177名）

イ. 研修会

初任者研修

- ・日 時：5月27日（土）10:00～12:00

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内 容：平成30年度手話通訳者全国統一試験の合格者19名を対象。

情報センターの概要、ひょうご通訳センターの運営

派遣事業の概要、報告書の書き方等

受講者：18名

技術研修

- ・日 時：7月28日（土）13:30～16:00

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内 容：「読み取り通訳（演習）」

受講者：25名

- 日 時：9月1日（土）13:30～16:00
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内 容：「医療通訳」
受講者：62名
- 日 時：12月22日（土）14:00～16:00
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内 容：技術研修「デフリンピックとデフスポーツ」
受講者：25名
- 日 時：1月26日（土）10:00～16:00
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内 容：手話通訳者・要約筆記者合同研修会
「デマンドコントロールスキーマを学ぶ」
受講者：12名

専門研修

- 日 時：3月29日（土）10:00～12:00
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内 容：「ひょうご発信」
受講者：8名
- 日 時：3月29日（土）14:00～16:00
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内 容：「県議会通訳」
受講者：21名

ウ. 兵庫県公費派遣事業

手話通訳者派遣事業（県公費）
年間：64件
総派遣人数：152名

エ. 市町村公費派遣事業

年間：700件
総派遣人数：949名

オ. 兵庫県主催イベントにおける聴覚障害者への情報配慮事業

年間：87件
総派遣人数：242名

（4）要約筆記者派遣事業

ア. 登録状況

126名（平成31年3月31日現在）

イ. 現任研修会

- 日 時：4月14日（日）
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内 容：派遣事業について、機材設営実習

受講者：20名

・日 時：5月11日（土）

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内 容：手書き要約筆記の実技研修「難聴者向け手話教室の情報保障について」

受講者：34名

・日 時：6月23日（日）

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内 容：パソコン要約筆記の実技研修「チームワーク」

受講者：26名

・日 時：12月14日（金）

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内 容：パソコン要約筆記の実技研修（正しく伝わる文章の組み立て）

受講者：13名

・日 時：1月18日（金）

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内 容：医療現場での要約筆記

受講者：34名

・日 時：3月16日（土）午前

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内 容：「要約筆記者の皆さんへ」「兵庫の難聴事業をもっと知ろう！ Part1」

受講者：11名

・日 時：1月26日（土）

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内 容：手話通訳者・要約筆記者合同研修会「デマンドコントロールスキーマを学ぶ」

受講者：6名

ウ. 兵庫県公費派遣

年間：121件

総派遣人数：409名

エ. 市町村公費広域派遣

年間：168件

総派遣人数：385名

オ. 兵庫県主催イベントにおける聴覚障害者への情報配慮事業にかかる派遣調整

年間：34件

総派遣人数：125名

(5) けいわん健診

県下でコミュニケーション支援事業に関わる設置手話通訳者、派遣事業の登録手話通訳者、要約筆記者、盲ろう通訳・介助員および聴覚障害者福祉施設で働く職員を対象にけいわん検診を実施しました。

ア. けいわん検診実施状況

- ・神戸会場 兵庫県立聴覚障害者情報センター
9月11日(火) 9:30~16:00 受診者 30名
10月16日(火) 9:30~16:00 受診者 26名(9/4台風のため振替)
- ・西宮会場 西宮市総合福祉センター
9月6日(木) 9:30~12:00 受診者 29名
- ・高砂会場 高砂市ユアアイ福祉交流センター
9月13日(木) 11:00~16:00 受診者 35名
- ・判定結果
A: 健常期 45名 B1: 疲労期 55名 B2: 初期 18名
B3: 顕性期 2名 合計 120名

(6) 各担当者会議、研修会

ア. コーディネーター研修会(手話通訳、要約筆記合同)

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者及び手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターを対象に案内し、手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターの資質の向上を目的に開催しました。

日時: 11月16日(金) 13:30~16:00
場所: 兵庫県立聴覚障害者情報センター
内容: 「市町村から県外への派遣」
受講者: 37名

イ. 意思疎通支援業務担当者会議(手話通訳、要約筆記合同)

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者と設置手話通訳者を対象に案内し、各市町への情報提供や提案および情報交換をすることにより各市町における同事業の充実と均一化を図ることを目的に次のとおり開催しました。

日時: 9月18日(火) 13:30~16:30
場所: 兵庫県立聴覚障害者情報センター
内容: 平成30年度派遣事業実態調査報告(手話通訳・要約筆記)
「意思疎通支援事業実施状況について」
受講者: 42名(1県・26市町・2団体)

ウ. 要約筆記コーディネーター情報交換会

平成30年度は実施なし

2. 相談支援事業

(1) ろうあ者・難聴者相談・移動相談

ア. 年間相談件数: 45件(移動相談も含む)

イ. 相談内容

- ・悩みや不安の軽減(話をきいてもらいたい)、金銭トラブル、インターネットトラブル

- 人間関係、制度利用について、
- 制度内容の説明

ウ. 移動相談実施時に支援者対象企画の開催

- 移動相談、「聴覚障害」の理解セミナー（明石）
日 程：12月10日（月）13:30～16:00
会 場：明石市役所 南会議室棟
受講者：10名
- 移動相談、「聴覚障害」の理解セミナー（三田市）
日 程：1月21日（月）13:30～16:00
会 場：三田市総合保健福祉センター
受講者：6名
- 移動相談、「聴覚障害」の理解セミナー（赤穂市）
日 程：2月4日（月）13:30～16:00
会 場：赤穂市役所 204 会議室
受講者：6名

（2）聞こえの相談

ア. 年間相談件数：209 件

イ. 相談内容

- きこえ、補聴器相談（聴力検査、疾患、補聴器適応・申請、FM 補聴器、人工内耳について など）
- 福祉機器の相談（高齢に伴う聴覚補償、会社の会議における聴覚補償 など）
- コミュニケーション（職場内、親子間、発音指導 など）
- 生活相談（軽中度難聴者の求職、福祉制度、日中活動 など）
- 子どもの難聴について（難聴発覚後の療育、発音指導、学習支援、進路、補聴器、情報補償など）
- 関係機関からの相談（難聴児者のケース相談、難聴者対象の事業実施について）
- 弱視難聴者からの生活相談、補聴器の相談など
- 企業から高齢難聴者対象の機器開発について

（3）こころの相談

ア. 年間相談件数：105 件

イ. 相談内容

- 発達障害（疑いも含める）、自分の親、子どもとの関係（コミュニケーションなど）
- 悩みや不安の解消
- 職場における人間関係（周囲の理解やコミュニケーションなど）
- たじま聴覚障害者センターでの、放課後等デイサービスにおけるスーパーバイザー（助言者）
利用されている子どものアセスメントや職員への助言
- 就労支援事業所職員（姫路）から利用者に関する相談

3. 中途失聴者難聴者コミュニケーション訓練事業

(1) 地域会場

- 日 時：5月12日、19日、26（土）全3回 13:30~15:30
内 容：読話
講 師：岡恵子氏、斎藤奈々氏
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
受講者：29名
- 日 時：6月2日、9日、16日（土）全3回 13:30~15:30
内 容：手話
講 師：北村明子氏、石井加代子氏
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
受講者：29名
- 日 時：9月16日、10月21日（日）全2回 13:30~15:30
内 容：手話
講 師：唐須 香氏
会 場：姫路市飾磨市民センター 2階 第1会議室
受講者：20名
- 日 時：9月4日、11日、18日、25日（火）全4回 10:00~12:00
内 容：読話2回、手話2回（9月4日は台風の為中止）
講 師：岡恵子氏、加藤めぐみ氏
会 場：川西市総合センター、ふれあいプラザ（9月18日のみ）
受講者：10名
- 日 時：6月9日、23日、7月14日（土）13:30~15:30
内 容：手話
講 師：庄司美絵氏
会 場：西宮市中央公民館
受講者：7名
- 日 時：1月6日（日）13:30~15:30
内 容：読話
講 師：岡恵子氏
会 場：コミュニティセンターおの
受講者：14名
- 日 時：1月20日（日）10:00~12:00
内 容：読話
講 師：斎藤奈々氏
会 場：福良地区公民館（南あわじ市）
受講者：8名
- 日 時：2月17日（日）10:00~12:00
内 容：読話
講 師：斎藤奈々氏
会 場：洲本市やまて会館

受講者：12名

(2) 難聴者のための手話教室

- 初級水曜コース

日 時：6月27日、7月4日、11日、18日、25日 13:30~15:30

会 場：情報センター サロン

講 師：庄司美絵氏

受講者：9名

- 初級土曜コース

日 時：6月23日、30日、7月7日、14日、21日 13:30~15:30

会 場：情報センター サロン

講 師：加藤めぐみ氏

受講者：12名

- 中級水曜コース

日 時：10月17日、24日、31日、11月7日、14日 13:30~15:30

会 場：情報センター サロン

講 師：鎌田種子氏

受講者：10名

- 中級土曜コース

会 場：情報センター サロン

日 時：10月6日、13日、20日、27日、11月10日 13:30~15:30

講 師：庄司正氏、大橋敏秀氏

受講者：19名

- 上級コース

日 時：1月19日、26日、2月2日、9日、16日（土曜日） 13:30~15:30

会 場：情報センター サロン

講 師：仲光恵氏、小野多恵子氏

受講者 14名

4. ろうあ者社会生活教室

- 日 時：9月17日（祝）13:30~15:00

会 場：新長田勤労市民センター

内 容：第6回こうれいしゃ講演会「私の手話」

講 師：幸泉正子氏 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会認定手話通訳者

参加者：90名

- 日 時：9月2日（祝）13:00~16:00

会 場：新長田勤労市民センター

内 容：女性セミナー「終活講座～エンディングノート～」

講 師：特定非営利活動法人「和讃の会」副理事長 小泉一也氏

参加者：68名

- ・日 時：2月3日(日) 13:30~16:30
 会 場：神戸市立婦人会館 4階つばさ
 内 容：青年部活動&デフスポーツの現状 講演&パネルディスカッション
 講演「青年部活動とスポーツ活動の両立について」
 講師：古隆喜氏
 パネラー：三枝浩基(陸上)、安積梨絵(バレーボール)、中井瑠奈(バスケットボール)
 参加者：25名
- ・日 時：10月6日(土) 13:30~16:00
 会 場：加古川市総合福祉会館
 内 容：第20回ろう教育学習会「脳科学から見た手話言語 手話言語と人工内耳」
 講 師：金沢 佑治 氏
 参加者：72名
- ・日 時：2月23日(土) 13:00~16:00
 会 場：神戸市立兵庫勤労市民センター2F 講習室
 内 容：「聴覚障害者が抱える就労環境の問題について」
 「聴覚障害者がいきいきと働くためにー福祉と企業の『合理的配慮』って何？」
 講 師：岩山 誠氏(一般財団法人 全日本ろうあ連盟福祉労働委員会委員労働専門委員)
 参加者：35名
- ・日 時：3月17日(日) 10:00~12:00
 会 場：西宮市立勤労会館
 内 容：手話フォーラム「手話はいのち~新しい手話を学ぼう!~」
 講 師：日本手話研究所標準手話確定普及研究部 中国班長 高塚 千春氏
 参加者：62名

5. 難聴者教室事業

(1) たじま地域難聴者教室「聞こえを学ぶ集い」

- 日 時：①9月30日(土)、②12月8日(土) 13:30~15:30
- 会 場：アイティ豊岡市民プラザ 市民活動室D
- 内 容：準備運☆「ちりとるゴルフ」
 ホワイトボードを使って座談会☆テーマ：「合理的配慮」
- 参加者：①台風のため 中止
 ②申込1名、当日参加3名(参加者計4名)

(2) 手話歌を楽しもう

- 日 時：年間5回水曜 13:30~15:30
- 会 場：情報センター サロン
- 内 容：講師は難聴者。さまざまな情報提供や取り組みも前半に加えて実施。要約筆記配置。
- 参加者：延べ34名

(3) 読話サークル「ひまわり」

- 日 時：年間5回水曜 13:30~15:30

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター サロン室

内 容：講師は言語聴覚士。読話手話入門講座修了者有志が中心の集まり。要約筆記配置。

参加者：延べ 48 名

(4) 手芸サークル（毎月第 3 金曜 13:30～15:30）

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

講 師：中途失聴の為に講師業を辞めていた方。再び指導できる場を提供。要約筆記配置。

製作品：パッチワーク、手芸小物品など

参加者：7名

6. 聴覚障害者及び聴覚障害に関する理解促進事業

(1) 中途失聴難聴事業推進委員会の実施

難聴・要約筆記の 4 団体（(特)兵庫県難聴者福祉協会・神戸市難聴者協会・兵庫県要約筆記サークル連絡協議会・要約筆記サークルこうべ）と、情報センターとで兵庫県内全域の難聴者福祉を考えることが目的です。

日程：7/20、3/19

内容：情報交換、課題共有

ア、家庭部会

日 程：7/9、9月（台風で中止）、10/1、13、11/5、3/23

企 画：2月 16 日（土）13:00～16:00

会 場：神戸市障害者福祉センター 会議室 B・C

内 容：「聞こえない子どもの学びを考えよう

～話し言葉を文字で見よう 要約筆記体験会～」

参加者：子ども 8名 保護者 5名

スタッフ：部会 5名、NT 4名、PC 要約筆記4名、親の会2名、市民の会1名

イ、社会生活部会

日 程：5/14、8/10、10/23、11/20、12/11、1/22、3/19

企 画：2月 10 日（日）13:00～16:00

会 場：神戸市障害者福祉センター 第5会議室

内 容：「中途失聴・難聴者団体、要約筆記サークル合同会議 ～防災懇談会～」

参加数：難聴者協会（3団体・4人）、要約筆記（7団体・10人）

ウ、労働部会

日 程：5/12、6/30、7/14、9/22、11/17、12/1、2/23

内 容：7月 28 日有識者に指導を頂き、調査に向けた学びと準備を進めました。

(3) 聴覚障害者文化祭

日 時：9月 29 日（土）10:00～15:00

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター、マリーホール
内 容：作品展示、バザー、ステージ発表、機器展など
参加者：延べ700名

(4) 聞こえの相談と交流会

ア. 小野市会場

日 時：10月21日(日) 13:00~16:00
会 場：コミュニティセンターおの
講 師：中川良雄氏(全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 補聴医療対策部長)
参加者：24名

イ. 丹波市会場

日 時：11月18日(日) 13:00~16:00
会 場：はぁ〜とふるかすが
講 師：中川良雄氏(全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 補聴医療対策部長)
参加者：14名

ウ. 稲美町会場

日 時：1月24日(木) 13:00~16:00
会 場：稲美町障害者ふれあいセンター
講 師 浜井啓太氏(補聴器センターめいりょう)
参加者：21名

(5) ふれあいサロン

聴覚障害者と健聴者が自由に交流できる場として情報センター「情報サロン」室で実施しました。

第1回 6月6日(水) 13:00~16:00 35名

第2回 10月3日(水) 13:00~16:00 33名

第3回 12月5日(水) 13:00~16:00 32名

第4回 2月6日(水) 13:00~16:00 29名

手話言語国際デー記念イベントの協力として実施 9月23日(祝) 13:00~17:00 76名

(6) 聴覚障害児とママ&パパ交流会

地域の学校に通う聴覚障害児の同障児交流の場が必要だと感じ、ろう協青年部、難聴青年部、ろう教育を語り合う会、兵通研下部組織 N-Action、言語聴覚士養成校の学生と共に交流会を実施しました。

日 時：8月4日(土) 10:00~15:00

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内 容：(午前) 会議室：岩本吉正氏(前たつのころうあハウス管理者)による講演

サロン：絵本の手話語り、マラカス製作 + 別室での保育

(午後) 会議室：ペットボトル風鈴工作(難協主導)

塗り絵、マスコット釣り(手芸サークルスタッフ主導)

体験ゲームコーナー、クイズコーナー(学生主導)

参加者：41名 スタッフ：25名 計 66名

(内訳) 子ども28名(内訳：聴障児16名)、ママ11名、パパ6名、その他1名

7. 聴覚障害者災害対応訓練事業

防災に関する学習会の実施

日時：31年3月23日(土) 13:30~16:00

会場：兵庫県聴覚障害者情報センター

内容：「呉地域聴覚障害者防災連絡協議会の取り組み」

参加者：46名(内 聞こえる人12名)

協力：(公社)兵庫県聴覚障害者協会 災害対策委員会

8. 聴覚障害者緊急時情報通信事業

「ひょうご防災ネット」を活用して登録者の携帯電話やパソコンに「緊急情報」「おしらせメール」「緊急気象情報」を発信するもので県内市町でも活用されている。当センターにおいても「緊急メール」や「お知らせメール」を用いた必要な情報を発信しました。

(登録件数 お知らせ情報：913件 緊急情報：1,198件)

9. 情報機器の利用・貸出し事業

聴覚障害者への情報保障に必要な、ヒアリングループ(磁気誘導ループ)、OHC、モバイルスクリーン、ビデオプロジェクター等の聴覚障害者用情報機器の貸出を行いました。

10. 字幕入りビデオライブラリー運営事業

字幕入り映像作品及び自主制作ビデオの貸し出しを行った。

ビデオテープ映像作品所管量の減数作業を行った。所管数の再確認と新規作品の追加作業を実施しました。(年間貸出し本数：84本)

11. IT機器活用研修事業

(1) パソコン相談の実施

聴覚障害者向けにパソコン相談を開催しました。

ア. パソコン相談(平日)

日時：随時

会場：情報センター情報機器利用室

受付者：職員

件数：15件

イ. パソコン相談(土曜)

日時：毎月1回、第3土曜日を基本に調整(14:00~17:00 予約制)

4/28(土)、5/7(月)、6/16(土)、8/25(土)、12/7(金)、1/19(土)、2/16(土)

会場：情報センター情報機器利用室

受付者：PC相談員

件数：14件

ウ. 但馬地域パソコン相談

日 時：隔月1回 第2土曜日、第4土曜日のいずれか（13:00～17:00 予約制）
7/28、10/6、12/1、1/26、3/9
会 場：たじま聴覚障害者センター
受付者：聴覚障害者相談員
件 数：5件

エ. イベント型パソコン・スマートフォン相談会（聴覚障害者文化祭同時開催）

日 時：9月29日（土）10:00～15:30
会 場：灘区民ホール1階 会議室
受付者：携帯会社スタッフ及び聴覚障害者相談員を設置（スマートフォン相談同時受付）
件 数：113件
協力企業：ソフトバンク社、KDDI au OSAKA社、ドコモショップ王子公園店

(2) IT 学校及びパソコン講習会

聴覚障害者向けに IT 学校及び PC 講習会を実施しました。

日 時：5月19日（土） 10:00～12:00
会 場：情報センター 情報サロン
内 容：IT 学校 第24 講「LINE スタンプ作成講座」
受講者：13名

日 時：6月6日～7月4日（水） 全5回 13:30～15:30
会 場：情報センター 情報機器利用室
内 容：「ゆっくりパソコン倶楽部」 ～はじめてのパソコン～
受講者：5名

日 時：7月13日～7月27日（金） 全3回 13:30～15:30
会 場：情報センター 情報機器利用室
内 容：PC 講座 「ワード基礎講座」 ～ワードを使いこなそう～
受講者：5名

日 時：7月14日（土） 13:30～15:30
会 場：情報センター 会議室
内 容：NTTドコモ共催 「タブレット体験講座！」 ～便利な使い方を学ぼう～
受講者：23名

日 時：10月13日（土） 10:00～12:00
会 場：情報センター 情報機器利用室
内 容：IT 学校 第25 講 使ってみよう！ ～コミュニケーションアプリ～
受講数：11名

日 時：10月26日（金） 10:00～12:00
会 場：情報センター 情報サロン
内 容：スマホ(iPhone)で写真とムービー教室～
おしゃれテーブルフォト撮影&コーディネートを楽しもう～

受講者：11名

日時：12月1日、12月8日（土） 全2回 10:00～16:00
会場：情報センター 情報機器利用室
内容：PC講座 「Excel（エクセル2016）入門講座」
受講者：5名

日時：2月4日（月） 13:00～15:30
会場：情報センター 情報サロン
内容：IT学校 第27講 「スマホ・インターネット Q&A」
受講者：20名

日時：3月16日（土） 10:00～12:00
会場：情報センター 情報サロン
内容：IT学校 第28講 「映像制作講座（講義編）」
受講者：10名

日時：3月16日（土） 13:30～15:30
会場：情報センター 情報サロン
内容：IT学校 第29講 「IT用語 勉強会」
受講者：20名

日時：3月19日（火） 13:00～15:00
会場：情報センター 会議室
内容：IT学校 第30講 「聴覚障害者向け字幕の必要性
～一般字幕と聴覚障害者用字幕の違い～」
受講者：15名

12. 聴覚障害者向けビデオ自主制作事業

(1) 聴覚障害者向けビデオの自主制作

聴覚障害者向けに手話や字幕を挿入したビデオを自主制作し、ビデオライブラリーでの貸し出しや関係機関、団体への配布等を行いました。

- ① 第35回兵庫県ろうあ者大会
「ろう映画とろう文化～映像制作を通して伝えたいこと～」今井ミカ氏
- ② 女性セミナー
「終活出前講座 ～始めようエンディングライフ！～」小泉一也氏
- ③ 「聴覚障害者と著作権法について学ぼう」 ～弁護士 田門 浩氏～
- ④ さがの映像祭2018 最優秀賞受賞作品
「やればできる あきらめない」 ～神戸ろう太鼓集団 鼓神 水野洋子さん
- ⑤ 第45回 兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい①
オープニング 式典 アトラクション
- ⑥ 第45回 兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい②
記念講演「ろうあ運動の先輩たちに学ぶ ～豆塚 猛氏～

- ⑦ あの人インタビュー①
「岡山ろう学校での出来事 火事の実験・記憶 ～中野 貞子さん～」
- ⑧ あの人インタビュー②
「太鼓にかける想い ～神戸ろう太鼓集団 鼓神 水野 洋子さん～」
- ⑨ 手話おもしろ話 月曜男 IN 兵庫 ①～⑦話 総集編
- ⑩ 防災知識を高めよう！⑥
「聴覚障害者と防災 ～呉地域聴覚障害者防災連絡協議会の取組～」
広島県聴覚障害者センター センター長 松岡 雅之氏
- ⑪ 「ネパールについて ミニ講演
～ 自己紹介、日本に来て思うこと、ネパールの生活～」第20期 スニタ氏
- ⑫ 広げよう楽しい会話シリーズ⑤ 正しく読み取ってみよう！「やっと」

(2) 関係団体及び行政機関との合同制作及び制作協力

- ①兵庫県聴覚障害者協会賛助会員特典 DVD
- ②兵庫県手話通訳統一試験対策講座 指導用 DVD ①～③
- ③兵庫県聴覚障害者協会認定手話通訳者試験 読取試験問題

(3) CS障害者放送「目で聴くテレビ」等への番組提供・協力

兵庫からの情報番組として、CS放送「目で聴くテレビ」へ映像提供、取材協力を行いました。

- 提供① つつうらうら「やればできる あきらめない」神戸ろう太鼓集団鼓神 水野洋子さん
- 提供② 国際手話デー生中継 兵庫会場インタビュー映像（2018.9.23）
- 提供③ 第66回全国ろうあ者大会 IN 大阪
分科会「ろうあ運動」舞台撮影・参加者インタビュー
- 提供④ 旧優性保護法裁判 提訴行動（2018.9.28）及び 報告集会
- 提供⑤ 旧優性保護法裁判 第1回目期日 及び 報告集会（2018.12.26）
- 提供⑥ 旧優性保護法裁判 第2回目期日 及び 報告集会（2019.3.22）

(4) 聴覚障害者向けビデオ映像のインターネット動画配信

従来のビデオライブラリー貸し出しに加え、映像用のHP及びブログを活用し、インターネット上で動画配信を行いました。（全17本 神戸市動画事業映像6本含む）

- 提供① センター行事のお知らせ 手話版「初心者向けパソコン講座のご案内」
- 提供② センター行事のお知らせ 手話版「Excel 講座のご案内」
- 提供③ センター行事のお知らせ 手話版「災害学習会開催のご案内」
- 提供④ 新年のあいさつ 管理者からのメッセージ
- 提供⑤ 月曜男 IN 兵庫 ①「親ごころ」
- 提供⑥ 月曜男 IN 兵庫 ②「新しい車」
- 提供⑦ 月曜男 IN 兵庫 ③「ヘルプカード」
- 提供⑧ 月曜男 IN 兵庫 ④「講演」
- 提供⑨ 月曜男 IN 兵庫 ⑤「妻の活動」
- 提供⑩ 月曜男 IN 兵庫 ⑥「洗濯物」
- 提供⑪ 月曜男 IN 兵庫 ⑦「手作りラーメン」

(5) 放送番組等への字幕付加

関係団体や聴覚障害者に対し字幕付加希望番組の意見募集箱を常設しています。

その結果、付加希望リストにのぼった放送番組やこれまで当センターが取材協力した番組を中心に、

字幕を付加しました。字幕は、当センター字幕スタッフ養成講座修了生が中心に制作しています。館内観賞可能です。(全34本)

- ① 兵庫県広報番組「教えて!ひょうご 最先端の科学を学ぶ」
- ② 兵庫県広報番組「教えて!ひょうご 地域交通の充実」
- ③ 兵庫県広報番組「教えて!ひょうご ひょうごの豊かな海」
- ④ 兵庫県広報番組「教えて!ひょうご 鳥獣対策」
- ⑤ 兵庫県広報番組「教えて!ひょうご 介護の現場から」
- ⑥ 兵庫県広報番組「教えて!ひょうご ひょうごで働こう」
- ⑦ 兵庫県広報番組「教えて!ひょうご ひょうごで起業」
- ⑧ 兵庫県広報番組「教えて!ひょうご 兵庫の近代歴史遺産」
- ⑨ 兵庫県広報番組「教えて!ひょうご 兵庫県庁をご紹介!」
- ⑩ 兵庫県広報番組「ひょうごトピッ! 神鍋高原のいろ鶏サラダ鍋」
- ⑪ 兵庫県広報番組「ひょうごトピッ! 播磨のカキ」
- ⑫ 兵庫県広報番組「ひょうごトピッ! 山田錦は日本酒だけじゃない!」
- ⑬ 兵庫県広報番組「ひょうごトピッ! 多可町の杉原紙」
- ⑭ 兵庫県広報番組「ひょうごトピッ! ラテアート日本一のカフェ」
- ⑮ 兵庫県広報番組「ひょうごトピッ! バウムクーヘン」
- ⑯ 兵庫県広報番組「ひょうごトピッ! 猪名川スターフード」
- ⑰ 兵庫県広報番組「ひょうごトピッ! 浜坂のホタルイカ」
- ⑱ 兵庫県広報番組「ひょうごトピッ! 播磨町ふるさとPR大使おすすめスポット巡り」
- ⑲ 兵庫県広報番組「今週の“輝きさん” 三田里山生活 里野山家 佐藤秀一さん」
- ⑳ 兵庫県広報番組「今週の“輝きさん” 小学生プロレスラー 嶋崎玖くん」
- ㉑ 兵庫県広報番組「今週の“輝きさん” 小学2年サッカー少年 山崎翔空くん」
- ㉒ 兵庫県広報番組「今週の“輝きさん” 大太鼓日本一甲南大生 野田浩佑さん」
- ㉓ 兵庫県広報番組「今週の“輝きさん” マルチランナー田中希実選手」
- ㉔ 兵庫県広報番組「今週の“輝きさん” 赤穂観光ガイド協会会長 鍋谷晴紀さん」
- ㉕ 兵庫県広報番組「今週の“輝きさん” 川西市黒川地区菊炭を作る 今西学さん」
- ㉖ 兵庫県広報番組「IDOカフェ ゲスト:藤田 尊子さん(株)基陽」
- ㉗ 兵庫県広報番組「IDOカフェ ゲスト:木村幸一さん 写真館淡路パオ」
- ㉘ 兵庫県広報番組「今週のはばタン はばタン スフラ キレキレダンス!」
- ㉙ 兵庫県広報番組「今週のはばタン はばタンの願いは?」
- ㉚ 兵庫県広報番組「今週のはばタン はばタン冬のお出かけは?」
- ㉛ 兵庫県広報番組「今週のはばタン 今晚のメニューは?」
- ㉜ 兵庫県広報番組「今週のはばタン サッカーの腕前は?」
- ㉝ 兵庫県広報番組「今週のはばタン はばタンの大好きな番組は?」
- ㉞ 兵庫県広報番組「今週のはばタン はばタン 読書中」

(6) スタッフ技術研修会の開催

日時:8月20日(月)13:30~16:30

会場:情報センター会議室

内容:「聴覚障害者と著作権法」について学ぼう

講師:田門 浩氏(都民総合法律事務所 弁護士)

受講者:35名

日時:9月10日(月)13:00~17:00

9月11日(火)10:00~15:00

会場:情報センター 情報機器利用室

内容:字幕制作スタッフ養成講座 フォローアップ研修会

講 師：早川代志子氏（社会福祉法人聴力障害情報文化センター）

受講者：8名

日 時：3月19日（火）13:30～15:30

会 場：情報センター 会議室

内 容：行政関係者対象 字幕学習講座

講 師：熊本県聴覚障害者情報提供センター水民喜代氏

受講者：15名

日 時：3月20日（水）10:00～16:00

会 場：情報センター 情報機器利用室

内 容：映像制作スタッフ フォローアップ研修会

講 師：熊本県聴覚障害者情報提供センター水民喜代氏

受講者：7名

(7) 関係機関会議への出席及び協力等

日 時：7月18日、9月6日・7日、10月30日・31日、11月14日、3月5日

会 場：京都聴覚障害者センター他

内 容：全国聴覚障害者情報提供施設協議会

「聴覚障害者の情報メディアに関する委員会」出席

日 時：4月17日（火）、8月7日（火）、3月5日（火）

会 場：アステム本社、和歌山県白浜

内 容：近畿共同会議 出席

日 時：6月9日（土）

会 場：西成区民センター

内 容：要請機関 近畿共同会議

「全国ろうあ者大会 大阪」分科会 舞台撮影および参加者インタビュー取材

日 時：11月15日（木）～17日（土）

会 場：長崎県立聴覚障害者センター

内 容：要請機関 全国聴覚障害者情報提供施設協議会

平成30年度 聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会 出席

参加者：40名

日 時：2月16日（土）

会 場：同志社大学 寒梅館

内 容：要請機関 近畿共同会議

さがの映像祭 要員及び映像作品の提出

日 時：2月20日（水）～22日（金）

会 場：さがの手話研修センター

内 容：要請機関 近畿共同会議・全国聴覚障害者情報提供施設協議会第四ブロック

13. その他

(1) 神戸市手話動画制作事業（神戸市からの受託事業）

神戸市より手話動画制作依頼を受けて手話動画を制作し、神戸市ホームページ等で配信しました。

ア、内容および配信（予定）

- 1回・防災編 第1話「序章」
（避難時の約束、身の守り方について）
- 2回・防災編 第2話「回想」
（母の体験と閉じ込められた時に私たちができる事について）
- 3回・防災編 第3話「火事」
（地震で火災が起きた時に私たちができる事について）
- 4回・防災編 第4話「津波」
（もしも津波がおきたときの避難の方法について）
- 5回・防災編 第5話「避難所」
（避難所で私たちができる事、必要な支援について）
- 6回・防災編 第6話「準備物」
（地震の備えについて）

イ、制作物および配信場所

制作物：手話動画（DVD）

配信場所：神戸市HP、兵庫県立聴覚障害者情報HP

Youtube（兵庫県立聴覚障害者情報センターのサイト）、全日本ろうあ連盟HP

ウ、平成27年度から引き続き、神戸市と兵庫県立聴覚障害者情報センター、神戸ろうあ協会等で協議を重ね今年度で4年を経過しました。今年度は視聴者の要望により「防災」を取り上げた。阪神・淡路大震災の経験や学んだことを伝えるために作成された絵本「地震がおきたら」の内容も交えながら、大人だけでなく、子供にもわかる手話動画を制作した。今回の取組は、消防機関との連携や、話題の絵本を取り入れたことで、マスコミ各社が多く取り上げ、多くの市民に手話や防災のことを知っていただける手話動画となりました。

(2) 手話普及啓発事業（兵庫県からの受託事業）

県民に広く聴覚障害に対する理解を深め、手話に関心を持ってもらうための講座を開催しました。

期間：平成30年6月17日（日）～平成31年1月27日（日）

回数：全25回（一般県民向け15回 親子向け10回）1回2時間

会場：県民向け 神戸市2、姫路市2、高砂市、佐用町、相生市、丹波市、朝来市、
稲美町、三木市、尼崎市、伊丹市、南あわじ市、西宮市

親子向け 尼崎市4、西宮3、神戸市2、南あわじ市

受講者：延べ662名

内容：内容：手話普及啓発講座「はじめての手話講座」

聴覚障害や手話についての講義、手話実技、グループ交流

<開催日程・場所>

	日 程	開催場所	講座区分	参加数
1	6月17日(日)	神戸市 神戸市立勤労会館	県民	27
2	7月15日(日)	姫路市 姫路労働会館	県民	8
3	7月15日(日)	高砂市 生石研修センター	県民	13
4	7月22日(日)	佐用町 三日月文化センター	県民	14
5	7月22日(日)	相生市 総合福祉センター	県民	9
6	8月29日(水)	尼崎市 常光寺幼稚園(年少クラス)	親子	25
7	8月29日(水)	尼崎市 常光寺幼稚園(年中クラス)	親子	23
8	8月29日(水)	尼崎市 常光寺幼稚園(年長クラス)	親子	23
9	9月 2日(日)	丹波市 氷上住民センター	県民	13
10	9月13日(木)	西宮市 みそら幼稚園(年少クラス)	親子	41
11	9月13日(木)	西宮市 みそら幼稚園(年中クラス)	親子	34
12	9月13日(木)	西宮市 みそら幼稚園(年長クラス)	親子	32
13	9月15日(土)	尼崎市 梅花東幼稚園	親子	11
14	9月23日(日)	朝来市 和田山ジュピターホール	県民	15
15	10月18日(木)	神戸市 高倉台幼稚園	親子	123
16	10月25日(木)	神戸市 神陵台愛徳幼稚園	親子	81
17	10月27日(土)	稲美町 ふれあいセンター	県民	12
18	10月27日(土)	三木市 三木市立市民活動センター	県民	10
19	11月10日(土)	尼崎市 小田公民館	県民	19
20	11月10日(土)	伊丹市 愛アイセンター	県民	9
21	11月17日(土)	南あわじ市 三原中央公民館	県民	14
22	11月17日(土)	南あわじ市 三原中央公民館	親子	22
23	12月 7日(金)	西宮市 西宮市総合福祉センター	県民	13
24	12月14日(金)	姫路市 姫路労働会館	県民	28
25	1月27日(日)	神戸市 コミスタ神戸	県民	43

14. 助成金事業【聴覚障害児を対象とした「集団作り」と「学習指導相談室」】

聴覚障害の子どもたちが集まり、交流し、学び合える場所の提供、及び聴覚障害児が聞こえない大人(先輩)と情報や意見を交換する場の提供をしました。

助成団体：モバイル・コミュニケーション・ファンド

助成期間：平成29年9月1日～平成30年8月31日 (全9回)

参加者：延べ 子ども74名、保護者61名、計135名

収一 1 出版物等普及事業

1. 出版事業

平成30年度も例年通り、奉仕員テキストの売り上げが大きく、総売上額の約40%を占める結果となりました。売上額約730万円と予算達成まであと少しの結果となりましたが、国際手話ハンドブック第1巻などは出張販売の際に販売数を徐々に伸ばした。国際手話ハンドブック第二巻の発売を控えており第二巻の売上につながるよう、引き続き兵聴協独自出物の普及に力を入れます。

平成30年度書籍売上（冊数）ベスト30（協会への預売・売掛も含む）

平成31年3月31日現在

順位	品名	売上数量	売上額（円）
1	奉仕員テキスト	905	2,932,200
2	新しい手話 2019	491	477,252
3	国際手話ハンドブック第1巻	312	468,000
4	MIMI 162	205	157,850
5	MIMI 160	198	152,460
6	MIMI 161	195	150,150
7	MIMI 163	189	145,530
8	わたしたちの手話学習辞典Ⅰ	157	440,856
9	新 たっちゃんと学ぼう	153	33,048
10	通訳者 講義テキスト（Ⅰ/Ⅱ共用）	96	176,256
11	一人ひとりが輝ける未来へ	88	47,520
12	兵庫の手話セット	87	174,000
13	わたしたちの手話学習辞典Ⅱ	83	233,064
14	通訳Ⅰ 養成テキスト	83	250,992
15	DVDで楽しく学べる はじめて出会う手話	81	157,464
16	手話テキスト 聴さんと学ぼう！	79	76,788
17	手話で防災 ～聴覚障害者の災害時支援のために～	64	34,560
18	通訳Ⅱ 養成テキスト	63	190,512
19	通訳Ⅲ 養成テキスト	62	187,488
20	新しい手話 2018	40	38,880
21	道 ～ろうあ運動を支えた人びと～	35	56,700
22	使える！スポーツ手話ハンドブック	33	46,332
23	2018 全国手話検定試験（第12回）	25	86,400
24	手話・言語・コミュニケーションNo.6	20	40,000
25	MIMI 159	14	10,780
26	よくわかる！聴覚障害者への合理的配慮とは？	14	12,096
27	差別事例分析結果報告集	13	7,020
28	手話を学ぶ人のために	13	22,464
29	兵庫の手話 DVD	13	19,500
30	奉仕員養成 指導書	13	35,100

2. 事業部

聴覚障害者用福祉用具や関連商品の販売・普及、また聴覚障害者および関係者向けのイベント等を企画・実施しました。

(1) 自動販売機事業

ア. 設置数：3台

- ・神戸ろうあハウス
- ・たじま聴覚障害者センター
- ・兵庫県立聴覚障害者情報センター（オリジナルデザイン）

(2) 要約筆記用OHPロール・補聴器電池・筆談器販売事業

ロール紙 355本

補聴器電池 本部事務所 24 個、たじま聴覚障害者センター12 個、情報センター10 個

筆談器 かきぼん@2,920 3個

非常食セット 3 個、手話でGoピンバッジ 3 個、リフレクターキーチェーン 12 個

(3) 聴覚障害者および関係者向けのイベント企画を行うため、物品販売等を実施しました。

日時・回数：平成30年6月～平成31年3月 全5回

(4) 講演会・講座 等

ア. タイ講演会

日程：平成30年4月20日（金）19:00～20:30 会場：神戸市障害者福祉センター

テーマ：タイについて 講師：カオクン・タンティピシクン氏

イ. 手話言語を広めよう！「ゆずり葉上映会」

日時：兵営31年2月17日（日）13:30～16:00

会場：西宮市勤労会館 大ホール 参加人数：103 名

(5) 情報福祉機器展

日時：平成30年9月29日（土）11:00～15:00（聴覚障害者文化祭 時に実施）

協力団体：4 団体 企業：17 社（1 社 ビラのみ）

1. ひょうご聴覚障害者介護支援センター

(1) 統括

ア. ヘルパーの質の向上を目指した学習会の開催

- ・月1回の活動ヘルパー会議時と年4回の登録ヘルパー全員の研修会において援助技術・知識を深めます。

ヘルパー会議で行った研修テーマ

- ・緊急時の対応 ・熱中症、感染症、食中毒について ・高齢者虐待防止法について
- ・非常災害時の対応について ・個人情報保護法について ・認知症について ・法令遵守について
- ・ヒヤリハットについて ・接遇マナーについて（感染症予防、蔓延防止）
- ・実技（体験型） オムツの適切な使用方法と選択について
- ・実技（体験型） 歩行補助具について 利用者に合った歩行補助具の選び方
- ・介護技術確認及びセルフチェック

ケアマネジャー（以下 CM）も参加し、共にスキルアップ向上とサービス提供責任者、担当ヘルパーとの情報共有に努めた。利用者に対する悩みや支援内容の相談・分析を行いました。

イ. 事業内容の検討

- ・兵庫県聴覚障害者協会のホームページ内のムービーを新しく作成。来年度にホームページ内のムービーを変更検討していきます。今後講義依頼などがあった場合、流していくことも検討します。

(2) 事業内容

地域生活支援事業の移動支援のニーズが高く、現在、神戸市・三木市・明石市・尼崎市のみですが、今後も依頼があれば派遣範囲を広げていく必要があります。

ア. 介護保険法

- ・居宅介護支援事業（CMによるケアプラン作成・認定調査）
- ・訪問介護事業・介護予防訪問サービス（ホームヘルパーの派遣）

イ. 障害者総合支援法

- ・居宅介護事業
- ・同行援護事業（実施できない 資格を持ったヘルパーが居ない）
- ・行動援護事業（実施できない 資格を持ったヘルパーが居ない）
- ・移動支援（地域生活支援事業） 対象市…神戸市、三木市、明石市、尼崎市、
加西市(加西市はなし)

(3) 運営会議

1ヶ月に1回担当理事・サービス提供責任者・CM及び職員との間で報告・連絡・相談をすることにより情報を共有していくとともに、課題について話し合いました。

(4) 居宅介護支援事業とホームヘルパー派遣

居宅介護支援事業所は23名の居宅サービス計画書（ケアプラン）作成・相談（要介護認定申請・他サービス事業所の紹介等）や問い合わせに対応しながらそれぞれの在宅支援に貢献しました。

訪問介護事業・介護予防訪問サービス、障害者総合支援法の居宅介護事業、地域生活支援事業の移動支援事業として県全域を対象にホームヘルパーを派遣しました。

今後も利用者の増加に努めます。またろうあ行事がある場合には、参加を促し仲間たちとの交流を増やしていくよう支援していきます。要支援や介護度が軽度（要介護1，2）方の割合が多いです。

ア. 利用地域（平成30年度末現在）

神戸市、尼崎市、西宮市、明石市、三田市、豊岡市、三木市、多可町、福崎町

イ. ヘルパー派遣時間

平成29年度 介護保険・・・2,456.55時間
障害福祉支援・・・601.35時間
地域生活支援事業・・・78.15時間
平成30年度 介護保険・・・2,737.01時間
障害福祉支援・・・797.15時間
地域生活支援事業・・・63.20時間

ウ. 介護保険利用者数（平成30年度末現在）

要支援1： 4名（平成29年度 2名）
要支援2： 3名（平成29年度 1名）
要介護1： 11名（平成29年度 7名）
要介護2： 8名（平成29年度 10名）
要介護3： 1名（平成29年度 4名）
要介護4： 1名（平成29年度 0名）
要介護5： 0名（平成29年度 0名）
合計 28名（平成29年度 24名）

エ. 総合支援利用者数（平成30年度末現在）

区分1： 0名（平成29年度 0名）
区分2： 8名（平成29年度 5名）
区分3： 1名（平成29年度 2名）
区分4： 0名（平成29年度 0名）
区分5： 0名（平成29年度 0名）
区分6： 0名（平成29年度 0名）
合計 9名（平成29年度 8名）

オ. ブロック別利用者数（平成30年度末現在）

・介護保険

阪神2名、神戸18名、東播2名、西播1名、北播0名、丹有3名、但馬2名 合計28名

・総合支援

阪神1名、神戸6名、東播1名、西播0名、北播1名、丹有0名、但馬0名 合計9名

1. 青年部

(1) 総括

ア. 第34回近畿ろうあヤングフェスティバル

8月25日(土)神戸スカイアドベンチャーすずらんにて実施しました。近畿6府県青年部が毎年持ち回りで開催しており、6年ぶりの開催となりました。大人だけではなく、こどもも共に楽しめる内容となっており、家族での参加もありました。参加者からは「皆で協力して乗り越える内容が多くて、とても楽しかった」という声を多数いただきました。

イ. ろう子どもふれあい企画

神戸動物王国にて実施しました。こども達と共にスタンプラリーや、ザリガニ釣りなどを楽しみました。こどもだけではなく、親御様方とも交流を深め、「青年部」というろう青年のモデルの一つを見て頂くこともできました。

ウ. 第38回兵庫県ろうあ青年研究討論会

神戸しあわせの村にて実施しました。テーマは「青年部×スポーツ＝？」であり、内容は講演とグループトークでした。講演では、埼玉県聴覚障害者協会理事の中西潤氏をお招きし「デフスポーツと青年部活動」というテーマで、これまでの活動と、これからの活動について講演頂きました。グループトークでは「スポーツ部員と青年部員を結びつけるには？」というテーマで話し合いました。

エ. 第13回ふくろう・ふれ愛まつり

兵通研組織部付のN-Actionひょうごメンバーと共に、模擬店として水餃子を出店しました。共に水餃子を作り、販売したことでお互いに交流を深めることができました。

オ. 青年のすゝめ(N-Actionひょうご合同企画)

N-Actionひょうごと共に、姫路にて合同学習会を実施しました。「聴覚障害者の福祉機器」をテーマに、(有)千里福祉情報センターの水野慎吾氏に講演頂きました。特に音声字幕変換アプリに関して参加者の関心が高かったです。また、企業側からもろう者が実際にアプリ等を使用して、感じたこと、要望等、当事者の意見をきくことができ良かった、との声を頂きました。

(1) 事業経過報告

日程	内容	開催地	参加者数
平成30年 4月1日	2018年度近畿ろうあ連盟青年部 定期代議員会	尼崎	兵庫4名
4月14日	第7回(公社)兵庫県聴覚障害者協会青年部 総会	神戸	出席16名
6月9日	第66回全国ろうあ者大会 青年のつどい	大阪	兵庫14名
6月30日～7月1日	第38回兵庫県ろうあ青年研究討論会	神戸	31名
7月15～16日	第37回全国ろうあ青年部活動者会議	静岡	兵庫4名
7月21日	ろう子どもふれあい企画	神戸	17名
8月25日	第34回近畿ろうあヤングフェスティバル	神戸	近畿64名
10月7日	第68回近畿ろうあ者大会 青年のつどい	和歌山	4名
10月13日～14日	第50回近畿ろうあ青年研究討論会	滋賀	兵庫8名
10月28日	第13回ふくろう・ふれ愛まつり	淡路島	8名
11月18日	青年のすゝめ(N-Actionひょうご交流企画)	姫路	全54名
11月23日～25日	第52回全国ろうあ青年研究討論会	秋田	兵庫6名

12月2日	2018年度近畿ろうあ連盟青年部 中間代議員会	尼崎	兵庫4名
平成31年1月20日	第45回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい	宍粟	10名
2月3日	青年講座（社会生活教室 ※スポーツ部と共催）	神戸	全25名
2月10日～11日	第50回全国委員会	大阪	兵庫1名
2月23日～24日	第9回西日本エリア幹部研修会	神戸	兵庫6名
3月10日	第12回近青&近コン合同企画	京都	兵庫2名

2. 女性部

(1) 総括

ア. 第7回定期総会

今回も出席率が低かったです。定期総会や女性部会は各地の要望や意見を出す場なので、各ろう協女性部長から全員出席の指示をお願いしたいものです。今年度から2つの行事を一日で実施することを総会で承認頂きました。

イ. 社会見学

奈良の「平城京めぐりと三輪そうめん手延べそうめん体験」では、世界遺産に登録された平城京は建物の色の鮮やかさと空の青さと豊かな緑の綺麗さに加えて、とても広がりました。三輪そうめんを手で広げるのは初めてで盛り上がりました。

ウ. 大学学習会

西日本を中心に甚大な被害をもたらした『平成30年7月大豪雨』のため、交通機関がストップし、和歌山での開催が中止となりました。

エ. 第48回近畿ろうあ女性フォーラム

上記の大学学習会と同じ和歌山開催のため、中止となりました。

オ. 女性セミナー（社会生活教室）

今、話題となっている終活講座のひとつであるエンディングノートを中心とした講演でした。内容に興味があったのか、男性の参加者が多かったです。今後も社会の変化に応じて開催してほしいと参加者から要望がありました。

カ. 第37回兵庫県ろうあ女性のつどい

午前の社会セミナー開催に続いて、映画「おくりびと」で話題になった納棺師に来て頂きました。お葬式で単に送り出すのではなく、本人と家族が納得する形で送り出すことを尊重する納棺師。納棺師による実演の中で遺体役になった人は「良かった、自分の時はお願いしたい」との感想でした。

キ. 第47回全国ろうあ女性集会

神話の国『出雲』こと島根県で開催。座長を担当した第1分科会の「家庭と教育」では、聴覚障害を持つ松江聾学校の福島校長先生を助言者として来て頂きました。手と心でつながり、わかりあえる喜びを子供達と親や地域へ発信していることを熱く語って頂き、活発なグループ討論をしました。記念講演は歴史学者の講師が出雲地方の歴史と魅力をたっぷり。手話通訳ができる語り部が有名な「耳なし芳一」などを豊かに手話表現、一同じっと見入っていました。2019年度は沖縄県那覇市で開催されます。

ク. 女性部会

毎年出席者が少ないです。各ろう協女性部の活動状況の報告がありました。若い女性会員を増やしたいが会員が減っていくので、行事を地元ろう協、青年部や老人部との共同で行う協会が多いです。女性部会はろうあ女性同士の情報交換が出来る唯一の場です。多数の参加とオブザーバー参加の呼びか

けをして下さい。

ケ. デフ女子会（新年会）

午前の女性部会からそのまま参加する人が多かったです。六甲山が見える『梅の花神戸元町店』でヘルシーな豆腐料理を美味しく頂きました。店の都合で急な内容変更の連絡が前日に入ったが、参加者全員に至急連絡対応、キャンセルなく開催できました。また、店の都合で部屋が2部屋に分かれ、全員の交流にならなかったのは残念でした。来年度は全員が一つの部屋で食事ができるようにします。

コ. 第43回全国委員会・第45回全国ろうあ女性研修会

北海道から沖縄まで、各ブロックの全国委員24名のうち21名で開催しました。翌日の震災復興支援ツアーを控えて、全国各地からのオブザーバーが多かったです。翌日の女性研修会は例年の講演や学習とは趣向を変え、仙台市内の震災復興支援ツアーでした。未曾有の大地震のあとに襲った大津波の脅威を示す震災遺構荒浜小学校やメモリアル311交流館を巡り、改めて今後も発生するだろう震災や津波の被害を少しでも減災に導くのは「明日は我が身」であることをいつも思うこと、そして、ひとりひとりが普段から災害に対する心構えと準備が要ると再確認しました。来年度は神奈川県横浜市を予定しています。

(1) 事業経過報告

ア. 県女性部

- ・4月15日（日） 第7回定期総会 新長田勤労市民センター
- ・5月20日（日） 社会見学 奈良・平城京、三輪素麺工場
- ・9月2日（日） 女性セミナー 新長田勤労市民センター
- ・9月2日（日） 第37回兵庫県ろうあ女性のつどい 同上
- ・1月13日（日） 女性部会 神戸生活創造センター
- ・1月13日（日） デフ女子会（新年会） 梅の花 元町店

イ. 近畿ろうあ連盟女性部

- ・4月22日（土） 女性部定期総会 大阪府谷町福祉センター
- ・6月23日（土） フォーラム打ち合わせ 和歌山ふれ愛センター
- ・7月7日（土） 近畿ろうあ女性部大学習会 和歌山ふれ愛センター（中止）
- ・7月8日（日） 第48回近畿ろうあ女性フォーラム 同上
- ・11月23日（祝） 代議員会・報告会 大阪府谷町福祉センター

エ. 全日本ろうあ連盟女性部

- ・10月26日（金）～28日（日） 第47回全国ろうあ女性集会 島根県民会館
- ・1月27日（土） 第43回全国委員会 仙台市福祉プラザ
- ・1月28日（日） 第45回女性研修会 震災遺構荒浜小学校など

3. 高齢部

(1) 総括

ア. 社会見学 7月27日（金）

行先はコープこうべ六甲アイランド食品工業でした。スタッフ担当者からパワーポイントによるわかりやすく説明があり、その後、参加者30名は2班に分けてラインを見学。この日は、実際に作られている様子が見られず残念でした。

見学後、工場で作られたパンの試食がありました。最後にお土産を頂いて解散しました。

イ. 敬老会 9月17日(祝・月)

敬老会は新長田勤労市民センターで行われ、80歳以上のご長寿の方は21名。最高齢は87歳でした。高齢にも関わらず、この日を楽しみに遠くから来られた方もおられました。お祝金を贈り、喜んでいただきました。参加された皆さんは全員元気で、聾学校はどこ?・趣味は?・長生きの秘訣は?等々いろいろとお話をして頂きました。その後は指を使ったゲームで盛り上がりました。

ウ. こうれいしゃ講演会 9月17日(祝・月)

手話通訳士の幸泉正子さんをお招きして、前半は「私の手話」のテーマで、ユーモアたっぷりでもわかりやすく講演していただきました。講演の最後には「どんな音が聞こえるか」ということを実際に体験しました。

エ. ろうあ高齢者グランドゴルフ大会 10月27日(土)

第13回兵庫県ろうあ高齢者グランドゴルフ大会は福崎町さるびあドームで開催。参加者は52名。コースはA・B・Cの3コースがあり、チームで各コースを回りプレーをしました。ホールインワンも出て大変盛り上がった大会でした。

オ. 一泊二日の度

鳥取・島根1泊2日の度で参加者は40名。1日目は津山まなびの鉄道館。水木しげるロードを見学した後はいこい亭菊萬ホテルへ。2日目は松江城と堀川巡りに分かれて行動。境港さかなセンターお土産を買い求める人が続出。最後のお菓子の壽城でもお土産を買い求める人が続出。全員怪我もなく無事に帰路につきました。

(2) 事業経過報告

4月14日(土)	第7回高齢部定期総会	(出席22名・委任20名)
4月14日(土)	第1回役員会	兵聴協 分室 (8名)
5月12日(火)	第2回役員会	兵聴協 分室 (7名)
7月15日(火)	第3回役員会	兵聴協 分室 (7名)
7月27日(金)	2018年度社会見学 コープこうべ六甲アイランド食品工場	(30名)
9月 8日(土)	第4回役員会	兵聴協 分室 (8名)
9月17日(祝)	第32回兵庫県ろうあ者敬老会	新長田勤労市民センター (60名)
17日(祝)	第8回こうれいしゃ講演会【社会生活教室】	新長田勤労市民センター (90名)
10月27日(土)	第13回兵庫県ろうあ高齢者グランドゴルフ大会	さるびあドーム (60名)
11月24日(土)	第5回役員会	兵聴協 分室 (7名)
2019(平成31)年		
2月 2日(月)	第6回役員会	福祉センター (7名)
2月22日(金)~23日(土)	2018 1泊2日の旅	鳥取・島根方面 (40名)
3月16日(土)	第7回役員会	福祉センター (6名)

近畿

2018(平成30)年

5月23日(水)	近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議	【西宮】 (3名)
9月 1日(土)	第39回近畿ろうあ高齢者大会&第29回GB競技大会&	
~2日(日)	第10回GG競技大会	【和歌山】 (20名)
11月15日(火)	近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議	【西宮】 (3名)

2019(平成31)年

2月15日(水) 近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議 【西宮】 (2名)

3月13日(水) 第3回近畿ろうあ高齢部幹部研修会 【奈良】 (5名)

全国

2018(平成30)年

6月9日(土) 第66回全国ろうあ者大会・高齢者のつどい 【大阪】(多数)

9月27日(水) 第30回全国ろうあ高齢者大会&第32回ゲートボール競技大会
~10月1日(日) &第9回グラウンドゴルフ大会 【鹿児島】(7名)

2月24日(金)~25日(土) 第11回全国ろうあ高齢部代表研修会 【滋賀】(3名)

4. スポーツ部

(1) 平成30年度 総括報告

ア. 近畿ろうあ者体育大会・全国ろうあ者体育大会

5月開催の近畿ろうあ者体育大会(滋賀)では、兵庫から役員含め71名の参加があり、前年度の京都大会参加数72名と比べて1名減、9月開催の全国ろうあ者体育大会(埼玉)では、兵庫から役員含め52名の参加があり、前年度の静岡大会参加数55名と比べて3名減となりました。

イ. スポーツ部三大行事

・兵庫県ろうあ者ソフトボール大会 in 西脇(北播ブロック)

3チーム約36名の参加がありました。黒田庄中学校グラウンドをお借りして懐かしい校舎と校庭を眺めながら晴天の下でのプレーと交流ができました。来年度開催地は神戸です。

・スポーツふれあい

ボウリング交流会を企画し、予想よりたくさんの参加者が神戸六甲ボウルに集い、こどもから高齢者まで会員相互の楽しい交流を深めることができました。

・兵庫県ろうあ者社会生活教室

デフアスリートでありながら青年部役員活動もこなしてきた古理事による講演と、現役デフアスリートの3名を招いて青年部役員とのパネルディスカッションを展開し、それぞれの体験や思いなどを語り合っていただき、大いに学ばせていただきました。

ウ. デフスポーツネットワーク会議に参加…平成31年1月27日

全日本ろうあ連盟スポーツ委員会主催のスポーツ庁委託事業「平成30年度障害者スポーツ推進プロジェクト(障害者スポーツ団体の連携及び体制整備への支援事業)」である『デフスポーツネットワーク会議』に、都道府県聴覚障害者協会体育部長として出席してきました。全国の加盟団体(ろうあ協会)体育部長とデフスポーツ競技団体、またろう学校関係者が一堂に会し、関係機関のネットワークを構築するための学習会で、これまでこのような機会がなく、初めての試みとのこと。当日は全国から60名が参加しました。スペシャルオリンピックス日本の常務理事補佐より講演、日本パラリンピック委員会、スペシャルオリンピックス日本、全ろう連スポーツ委員会(デフリンピック)によるパネルディスカッション、デフスポーツ競技団体からの現状報告、午後からは3つのテーマに分け、分散会が展開されました。この会議の詳細については、全日本ろうあ連盟のホームページにて写真付きで紹介されています。とても有意義な情報交換や討論が出来たということで、来年度も開催される見込みとのこと。

エ.『兵庫県障害者スポーツ優秀選手賞』受賞…平成31年2月13日

播磨デフバレーボーイズ(兵庫県男子バレーボールチーム)が、2018年度兵庫県障害者スポーツ優秀選手賞を受賞しました。昨年10月に開催された第18回全国障害者スポーツ大会(福井しあわせ元気大会2018)において金メダルを獲得した功績が評価されました。受賞されたメンバーは次の11名です。小垣憲一、加賀辰樹、田中利典、遠山順平、西村浩一、信田光宣、堀江一史、村田泰真、八木康吉、宮西剛(監督)、臼井菜津美(マネージャー)

(2) 平成30年度 事業経過報告

第45回近畿ろうあ者体育大会 監督主将会議

【日程】平成30年5月13日(日) 13:30~16:00

【場所】草津市立まちづくりセンター(滋賀県)

第45回近畿ろうあ者体育大会(滋賀県)

【日程】平成30年5月26日(土)~27日(日)

【場所】草津市立総合体育館

【結果】72名/軟式野球(兵庫イーグルス3位)、バレーボール(男子優勝、女子準優勝)、卓球(団体戦男子準優勝、男子シングルス優勝、男子ダブルス優勝、混合ダブルス準優勝)、ボウリング(女子個人HG賞)、フットサル(男子A優勝)

第18回全国障害者スポーツ大会/聴覚障害者バレーボール競技 近畿地区予選大会

【日程】平成30年6月3日(日) 9:00~16:00

【場所】兵庫県立障害者スポーツ交流館

【参加】兵庫県男子選手9名・兵庫県女子選手9名

【結果】兵庫県男子チームが優勝(全国大会出場権獲得)

第52回全国ろうあ者体育大会(埼玉県)

【日程】平成30年9月21日(金)~23日(日)

【場所】越谷市立総合体育館 他

【結果】52名/野球:2回戦敗退、バレーボール:男子優勝、女子優勝、陸上:男子1部800m1位(2'11'91)男子1部400m3位(55'76)テニス:男子ダブルスA優勝、ダブルスB3位、バスケットボール:女子3位

第18回全国障害者スポーツ大会/聴覚障害者バレーボール競技

【日程】平成30年10月13日(土)~14日(日)

【場所】大野市エキサイト広場総合体育施設体育館(福井県)

【結果】兵庫県男子優勝

スポーツふれあい2018「ボウリング交流会」

【日程】平成31年3月10日(日) 14:00~17:00

【場所】神戸六甲ボウル(神戸市)

【参加】27名

《県》

4月 7日(土)	決算会計監査	(兵聴協事務所分室)
4月13日(金)	第1回役員会 出席3名/委任1名	(兵聴協事務所分室)
4月15日(日)	第7回スポーツ部総会	(新長田勤労市民センター)
6月22日(金)	第2回役員会 出席4名/委任1名	(兵聴協事務所分室)
8月10日(金)	青年部合同役員会	(兵聴協事務所分室)
8月31日(金)	第3回役員会 出席4名/委任1名	(兵聴協事務所分室)
10月14日(日)	第37回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会監督主将会議	(西脇市)
10月21日(日)	第37回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会	(西脇市)
11月 9日(金)	デフスポーツクラブ懇談会	(兵聴協事務所分室)
11月10日(土)	中間会計監査	(兵聴協事務所分室)

平成31年

2月 4日(日)	兵庫県ろうあ者社会生活教室(青年部・スポーツ部合同企画)	(神戸)
2月21日(木)	第4回役員会 出席5名	(兵聴協事務所分室)
3月10日(日)	スポーツふれあい2018	(神戸)
3月27日(水)	第5回役員会 出席5名	(兵聴協事務所分室)

《近畿》

5月12日(土)	第1回近畿ろうあ連盟体育部常任委員会	(滋賀)
5月13日(日)	午前/近畿ろうあ連盟体育部2017年度全体委員会	(滋賀)
5月13日(日)	午後/第45回近畿ろうあ者体育大会監督主将会議	(滋賀)
5月26日~27日(日)	第45回近畿ろうあ者体育大会	(滋賀)
6月 3日(日)	第18回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技 近畿地区予選大会	(兵庫)
7月22日(日)	第2回近畿ろうあ連盟体育部常任委員会	(大阪)
11月18日(日)	第3回近畿ろうあ連盟体育部常任委員会	(大阪)
2月17日(日)	第4回近畿ろうあ連盟体育部常任委員会	(大阪)

2019年

3月24日(日)	近畿ろうあ連盟体育部臨時3役会議	(京都)
----------	------------------	------

《全国》

9月21日(金)	第52回全国ろうあ者体育大会ブロック加盟団体体育部長会議	(埼玉)
9月22日~23日(日)	第52回全国ろうあ者体育大会	(埼玉)
10月13日~15日(日)	第18回全国障害者スポーツ大会	(福井)

5. 全国手話検定試験事業

(1) 全国手話研修センターが主催する「全国手話検定」の兵庫会場として当法人が準備を進め、試験実施に協力しました。(5級~1級)

ア. 5級・4級試験の実施

日 程：平成30年10月13日(土)

会 場：神戸市立総合福祉センター、兵庫県立聴覚障害者情報センター

受験者：5級 140名、4級 132名

イ. 3級・2級試験の実施

日 程：平成30年10月14日（日）

会 場：神戸市立総合福祉センター

受験者：3級 139名、2級 49名

ウ. 準1級・1級試験の実施

日 程：平成30年10月20日（土）

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

受験者：準1級 23名、1級 23名

エ. 団体受験の実施

加古川南高校（11/11）5級 10名、西脇市役所（2/9）4級 13名

淡路ふくろうの郷（2/24）4級 4名・3級 10名

6. 国際手話講座

日 時：平成31年2月23日（土）、2日（土）、16日（土） 全3回

場 所：神戸市立総合福祉センター

テーマ： 国際手話ハンドブック第1巻を使って学ぼう 講師：足立達哉氏

7. 第14回兵庫県聴覚障害者文化祭

日 時：平成30年9月29日（土）午前11時00分～午後3時00分

場 所：神戸市立灘区民ホール

2階兵庫県立聴覚障害者情報センター、5階マリーホール

- 内 容：
- ・ステージ発表（ダンス、和太鼓、チャンゴ、マジックなど）
 - ・展示コーナー（写真、手作り手芸品、健康コーナー、心肺蘇生コーナーなど）
 - ・バザー出店（物品、特産物、防災グッズなど）
 - ・飲食コーナー（カレー、スープぎょうざ、うどん、キャベツ焼きなど）
 - ・第6回聴覚・視覚・発達障害のための情報福祉機器展

参加者：600人

8. 第35回兵庫県ろうあ者大会

日 時：平成30年6月24日（日）午前10時00分～午後4時00分

場 所：不死王閣 ホール

内 容 ・オープニング（和太鼓「みのり」）

- ・第一部 大会式典（主催者挨拶、来賓祝辞、来賓紹介など）

議 事（会務報告、大会宣言、大会決議、特別決議など）

- ・第二部 記念講演

「ろう映画とろう文化」～映画製作を通して伝えたいこと～

講師 今井 ミカ 氏（ろう者の映画監督・LGBTQ）

- ・第三部 引き継ぎ式、福引（次回開催地への引継 川西市から加東市へ）

参加者：534名

9. 第45回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい in 宍粟

日 時：・平成31年1月20日（日）午前10時00分～午後4時00分

場 所：・サンホールやまさき（山崎文化会館）ホール

- 内 容：・第一部 オープニング 宍粟和太鼓アーツ倶楽部「音羽」
大会式典（来賓、来賓祝辞等）
成人祝いのつどい（新成人紹介、励ましのことば、記念品贈呈など）
亥年生まれ祝いのつどい（紹介、お祝い、記念品贈呈）
- ・第二部 アトラクション フラダンス（ハーラウ オ アウリトゥアヒネ）
記念講演「ろう運動の先輩たちに学ぶ」
講師 豆塚 猛 氏（カメラマン）
- ・第三部 次回開催地への引継ぎ 宍粟市から豊岡市へ
福引抽選会

参加者：500名

10. 第37回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会

【日程】平成30年10月21日（日）9：00～16：00

【場所】西脇市立黒田庄中学校グラウンド（西脇市）

【参加】姫路チーム14名、北播チーム14名、ハバタンチーム14名（個人申込者：三田市、宍粟市、加古川市、明石市、尼崎市） 合計42名

【結果】姫路チーム：優勝（5連覇）、2位：北播チーム、3位：ハバタンチーム

11. 第4回兵庫県ろうあ者討論集会

日 程：平成30年11月3日（土）～11月4日（日）

場 所：しあわせの村

参 加：52名

内 容：手話通訳者を育てるためには何が必要か？～手話学習者の声からわかった事～
分科会

講 師：繁益 陽介氏（日本手話研究所）

12. 幹部研修会

第2回幹部研修会

日 程：平成31年2月16日（土）

場 所：兵庫県立のじきく会館

参加数：36名

内 容：「あなたの地域の手話通訳派遣制度は大丈夫？」

基調報告：兵庫県聴覚障害者協会理事 嘉田真典

分科会

1.理事会

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
		2018/ 04/21	2018/ 05/19	2018/ 06/16	2018/ 08/9	2018/ 10/26	2018/ 12/15	2019/ 01/19	2019/ 03/23
理事長	本郷 善通	出	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	小林 泉	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	嶋本 恭規	出	出	出	出	出	欠	出	出
	嘉田 眞典	出	出	出	出	出	出	出	出
	仲井 正	出	出	出	出	出	出	出	出
	橋詰 一則	出	出	出	出	出	出	出	出
	岩本 吉正	出	出	出	出	出	出	出	出
	山本 紋子	出	出	出	出	出	出	出	出
	古 隆喜	出	出	出	出	出	出	出	出
	足立 達哉	出	出	出	出	出	出	出	欠
	木戸めぐみ	出	出	出	出	出	出	欠	出
	水田 俊子	出	出	欠					
	大塚登代子				出	出	出	出	出
	中村 泰輔	出	出	出	出	出	出	出	出

監事	吉野 浩	出	出	出	出	欠	出	出	出
	井谷 亮	出	欠	出	出	出	出	出	欠
	川上 能壽				出	出	出	出	出

2. 総会

第7回総会 平成30年6月16日（土）14時～16時

兵庫県立のじぎく会館

出席 100人 委任 441人

[議事結果]		不承認	保留	承認
第1号議案	議長選出の件	0名	0名	100名
第2号議案	平成29度事業報告の件	0名	0名	100名
第3号議案	平成29度決算報告及び平成29度監査報告の件	0名	0名	100名
第4号議案	公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会定款改正の件	0名	0名	100名
第5号議案	理事・監事改選の件	0名	22名	78名

3. 事務局

- ・協会の実務全般のとりまとめ

協会が実施する事業（公益事業、独自事業、委託事業など）を推進するにあたって必要な実務作業を行い、事業の円滑化を図ると共に行政・関係機関・団体等との連携及び関係づくりにつとめました。

参考資料／関連団体・各種委員会等

1. 四団体トップ会議

兵庫手話通訳問題研究会、県手話サークル連絡会、社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会と共に兵庫のあらゆる課題、問題等や今後の取り組み等を中心に意見交換を行いました。

出席者：各団体の三役

場 所：兵聴協事務所分室

2. 各種大会、研修会への協力及び派遣

(1) 兵庫県

ア. 第20回ろう教育フォーラム in 兵庫

日 時 平成30年10月6日（土）13:30～16:00

場 所 加古川市総合福祉会館

参加者 72名

内 容 講演「脳科学から見た手話言語 手話言語と人工内耳」

講 師 金沢 佑治 氏（滋賀県立小児保健医療センター 耳鼻咽喉科頭頸部外科医師）

(2) 兵庫県関係

- ・兵庫県くすの木学級運営委員会への協力（兵庫県教育委員会）年2回（神戸）【本郷】

(3) 近畿ろうあ連盟及び近畿の行事への協力と代表派遣

- ・第35回近畿手話通訳問題研究討論集会（奈良）平成30年12月8～9日

【嘉田・岩本・仲井・中村】

- ・第7回近畿ろうあ者福祉・労働フォーラム（京都）平成30年9月24日【嘉田】

- ・第28回近畿ろう教育フォーラム（奈良）平成31年2月2日【古・嘉田】

- ・第29回近畿手話サークルフォーラム（和歌山）平成31年3月31日【嘉田】

- ・2018年度近畿ろうあ連盟幹部研修会（京都）平成31年1月26日～27日

- ・近畿ろうあ連盟評議員会（京都）平成31年1月27日

【本郷、嘉田、山本紋、古、足立、岩本、橋詰】

- ・第1回近畿ろうあ連盟代表者協議会（大阪）平成30年4月29日

【本郷、小林、嶋本、山本、嘉田】

- ・第2回近畿ろうあ連盟代表者協議会（京都）平成31年1月26日

【本郷、小林、嶋本、山本紋、嘉田】

- ・近畿地区専従職員研修会（大阪）平成30年11月8日～9日【山本、嘉田】

- ・第1回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（大阪）平成30年5月12日【嘉田】
 - ・第2回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（大阪）平成30年7月14日【嘉田】
 - ・第3回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（奈良）平成30年11月3日【嘉田】
 - ・第4回三団体会議（和歌山）平成31年3月31日【嘉田】
- (4) 全日本ろうあ連盟、全国ろうあ者大会への協力と代表派遣
- ・第6回（通算第69回）一般財団法人全日本ろうあ連盟評議員会（大阪）
【本郷、小林、嶋本、嘉田、山本、岩本、足立、古、橋詰】
 - ・2018年度全国福祉対策会議（大阪）平成30年6月8日【橋詰】
 - ・第66回全国ろうあ者大会（大阪）平成30年6月7日～10日
 - ・第45回近畿ろうあ者体育大会（滋賀）平成30年5月26～27日【木戸、古、嘉田】
 - ・第68回近畿ろうあ者大会（和歌山）平成30年10月7日 【本郷・嘉田・吉野】
 - ・全通研サマーフォーラム（沖縄）平成30年8月17日～19日【嶋本、山本】
 - ・第52回全国ろうあ者体育大会（埼玉）平成30年9月21日～23日【木戸・山本】
 - ・第30回ろう教育を考える全国討論集会（富山）平成30年8月25日～8月26日【小林・古】
 - ・第32回全国ろうあ者相談員研修会・第23回全国職業安定所手話協力員
兼ろうあ者労働問題フォーラム in 岐阜【岩本】

3. 各種委員会

(1) 聴覚障害者センター支援委員会

ア. 会議日程：第3水曜日 18時30分～20時30分

4月18日、5月16日、6月20日、9月9日、12月19日、2月20日、3月20日

イ. 場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

ウ. 構成団体：兵庫県聴覚障害者協会・兵庫県難聴者福祉協会・兵庫盲ろう者友の会
神戸ろうあ協会・神戸市難聴者協会・兵庫県手話サークル連絡会
兵庫県要約筆記サークル連絡会・兵庫手話通訳問題研究会
神戸市手話サークル連絡会・要約筆記こうべ

エ. 活動内容

- ・平成31年度に向けた要望書を各団体から意見をもとに、県・神戸市に提出しました。
- ・センター事業の理解を深めるための学習（意思疎通支援事業・防災）を行いました。

(2) ひょうご聴障ネット

ア. 目的

兵庫県下の聴覚障害者関連福祉事業への支援を行うとともに、聴覚障害者福祉の向上と聴覚障害者に対する社会的啓発に努める。聴覚障害者関連福祉事業の安定した運営を図るには具体的な支援の取り組みが必要になるため、「聴覚障害者の『完全参加と平等』の実現をめざす会」と「ひょうご高齢聴覚障害者施設建設委員会」の活動をひきつぐ団体として設立しました。

イ. 平成30年度の活動

(主催事業・行事)

- ・総会・活動報告会・聴覚障害者の社会参加を守るためのアピールパレード 5月13日(日)
- ・夏の学習会「あなたがだまされないためには…」 8月26日(日)

司法書士・手話通訳者 木原道雄氏（一般社団法人全国手話通訳問題研究会愛媛支部司法部）

- ・兵庫県聴覚障害者文化祭 9月29日(土)
- ・年4回「ひょうご聴障ネットニュース」発行
- ・各地域へのオルグ活動
- ・役員会 毎月第3木曜日
- ・事務局会議 毎月第2、4木曜日
- ・2019年ふくろうカレンダーの作成、販売
- ・兵庫県議会訪問 9月25日(火) 兵庫県立聴覚障害者情報センター・公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会・NPO法人兵庫盲ろう者友の会と共に各会派を訪問

（協力事業・行事）

- ・第26回障害者の明日を語り合うつどい 7月22日(日)
- ・兵庫障害者連絡協議会連続講座
第1回「障害は迷惑か？」 5月12日(土)
- ・兵庫・優生保護法被害を考えるつどい（NPO法人兵庫障害者センター主催）12月22日(土)
- ・災害と障害者のつどい 2019年1月27日(日)

〈支援金〉

NPO法人神戸ろうあ協会

神戸ろうあハウス雨漏り緊急対応工事（370,000円）

〈会員・資産〉

平成31年3月31日現在 会員数395人・84団体

（内訳：マンスリー/65、個人/324、特別/6 団体/84）

平成31年3月31日現在 資産残高26,796,304円

〈兵聴協との関わり〉

- ・兵聴協から代表委員1名・事務局次長1名・委員2名を派遣。その他学習会などで協力。
- ・「ろうあ兵庫」で毎号ひょうご聴障ネットの活動を会員に報告、PRを行いました。

（3）兵庫のろう教育を語り合う会

ア. 定例会議：第一木曜日開催 兵聴協分室・神戸市立総合福祉センター 19:30～

イ. 主な活動

- ・第20回ろう教育フォーラム in 兵庫
日時 平成30年10月6日(土) 13:30～16:00
場所 加古川市総合福祉会館
参加者 72名
内容 講演「脳科学から見た手話言語 手話言語と人工内耳」
講師 金沢 佑治 氏（滋賀県立小児保健医療センター 耳鼻咽喉科頭頸部外科医師）
- ・第22回ろう教育学習会 <兵庫県ろうあ者社会生活教室>
日時 平成31年2月9日(土・祝) 13:30～16:00
場所 西宮市立若竹生活文化会館3階講堂
参加者 76名
内容 講演「乳幼児期手話獲得支援事業「こめっこ」について」
講師 久保沢 寛 氏（公益社団法人大阪聴力障害者協会職員）

ウ. 機関紙掲載

「ろうあ兵庫」「ひょう通研ニュース」「県サ連だより」に活動内容の報告やろう教育の情報などを掲載。

エ. 県下、県外でのその他の活動

- ・全国ろう教育担当者会議（平成30年8月24日）
- ・第28回近畿ろう教育フォーラム in 奈良（平成31年2月2日）

オ

ウ. 今後の方針

今後も聴覚特別支援学校や難聴学級を実施している一般学校の連携を図りながら、教育環境や子ども、保護者の置かれた状況に柔軟に対応していけるよう努めます。学校側の企画にも積極的に協力し、学校側にも当協会の企画への参加を促進するなど、更なる連携強化を図ります。

- ・「第21回ろう教育フォーラム in 兵庫」と「第23回ろう教育学習会」への取り組み
- ・聴覚障害児を持つ保護者や教員との交流や情報提供、ネットワーク作り（相談、訪問、交流など）
- ・県下聴覚特別支援学校や行政関係（県・市教育委員会）との連携

(4) 手話通訳制度化推進委員会

ア. 定例委員会

毎月第4金曜日 第372回～第383回 19:00～21:00

場所：神戸市立総合福祉センター

イ. 構成委員： 計11名

兵庫県聴覚障害者協会（1名）	神戸ろうあ協会（1名）
兵庫手話サークル連絡会（2名）	兵庫手話通訳問題研究会（4名）
神戸市手話サークル連絡会（2名）	兵庫県立神戸聴覚特別支援学校（1名）

ウ. 活動内容

- ・第24回“なるほどザ制度化”学習会開催

日時：平成30年9月16日（日） 13:30～16:30

場所：あすてっぴ神戸

内容：手話言語条例について考えよう

参加者：40名（ろう者8名・健聴者21名・委員11名）

エ. “豊かな人生を送るために”聴覚特別支援学校向けパンフレット配布

- ・1月神戸、2月姫路聴覚特別支援学校の高等部3年生を対象に学校訪問
- ・制度化推進委員会作成のDVDを見てもらい、説明を行いました。訪問して直に話をする事で制度に興味を持つ生徒もおられ、今後とも継続して取り組みます。

オ. 近畿手話通訳問題研究討論集会、共同研究者派遣・レポート報告

- ・日時：平成30年12月8日・9日
- ・場所：奈良県社会福祉総合センター
- ・レポート内容：聴覚特別支援学校訪問の取り組み

(5) 兵庫手話健康対策委員会

ア. 定例会議：毎月第2月曜日 19:00～21:00 兵聴協分室

4/9(月)・5/7(月)・6/11(月)・7/9(月)・8/6(月)・9/10(月)・10/9(月)・11/12(月)
12/10(月)・1/7(月)・2/4(月)・3/11(月)

- イ. 構成委員：(兵聴協) 仲井・木戸・中村泰
(県サ連) 苗村・江木・波々伯部
(兵通研) 秦野・栗林・阿部

ウ. 活動内容

- 8/11 (土・祝) 手話健康対策委員会学習会 ～自己を見つめ、リカバリーする心を得よう～
テ ー マ：「健康な心と身体を作るためには」
参 加：36名 (ろう者10名・聴こえる人26名)
講 師：甲斐 更紗 氏 (精神保健福祉士)
場 所：神戸市立総合福祉センター
- 兵庫県立聴覚障害者情報センター主催 けいわん検診の協力 (受付、アンケートの実施)
 - ①神戸会場 兵庫県立聴覚障害者情報センター
 - ・ 9/11 (火) アンケート回答数38人
 - ・ 10/16 (火) アンケート回答数21人
 - ②高砂会場 高砂市ユーアイ福祉交流センター
9/13 (木) アンケート回答数40人
 - ③西宮会場 西宮市総合福祉センター
9/ 6 (木) アンケート回答数26人
- 2018年度 職場アンケートの実施と結果活用
実施期間：平成30年8月11日～9月28日
対 象 者：兵庫県聴覚障害者協会および各ろうあ協会の関係団体職員
配 布 先：19事業所 200人 (回収数：116人) ⇒ 集計結果は各事業所に報告
- 2/9 (土) 職場のストレスチェック報告学習会 兵庫手話健康対策委員会主催
テ ー マ「職場のストレスの原因はこれだ！」
参 加：30名 (ろう者6名・聴こえる人24名)
講 師：大阪社会医学研究所・労働衛生コンサルタント 中村 賢治 医師
場 所：西宮市立若竹生活文化会館 (西宮市立若竹公民館) 講堂
職場ストレスチェックとは何か、集計結果報告

エ. 【啓発事業】

- ろうあ兵庫、県サ連だより、兵通研ニュースに「けいわんニュース」を掲載
- 学習会、けいわん検診など行事で「STOP・ザ・けいわんパートⅡ」「身体のストレッチ」の冊子紹介

オ. 【総括と課題】

- 健康対策委員会学習会「健康な心と身体を作るためには」講師の話を聞くだけの内容ではなく、参加型の学習会で楽しく学習できた。今後も参加者に楽しんでもらえる企画を考えています。
- 職場ストレス度チェックについて、結果の活用についての学習会を開催しました。今後も継続するかどうか検討する必要があります。
- けいわんの正しい理解と普及のために個人でも勉強できることを目的とした、けいわんとけいわん体操についてのDVD作成中です。

(6) 災害対策委員会

- ア. 定例委員会：5/8・7/10・8/6・1/8・2/5・3/5
- イ. 構成委員：(兵聴協) 嘉田 (県サ連) 今井、吉村 (兵通研) 竹原、鞍富
- ウ. 検討事項

- ・災害対策委員会の活動内容について
- ・兵庫県合同防災訓練について
- ・『ろうあ兵庫』掲載内容について
- ・防災学習会開催について

エ. 活動内容

- ・兵庫県聴覚障害者文化祭 (9/29) 兵庫県立聴覚障害者情報センター 防災グッズ展示
- ・兵庫安全の日(1/17) HAT 神戸内なぎさ公園
- ・情報センター災害学習会(3/23)の要員協力

オ. 啓発事業

- ・ろうあ兵庫に「災害対策委員会ニュース」を掲載
- ・聴覚障害者文化祭にて防災に関する避難グッズ、パンフレットを展示

カ. 総括

震災を知らない世代が増えているので語り伝える必要があります。

各地の防災の取り組みや活動が少なくなっている。阪神・大震災の時に聴覚障害者が困った問題、課題が出ましたが、今も問題が多く残っていることがわかりましたので今後も啓発や学習会を続けていきます。

(7) 聴覚障害者の医療を考える会

ア. 聴覚障害者の医療を考える(“いのち”を考える会)

- ・ 5/24(木) 第170回「きちんとリハビリすれば楽になる」～その2. 膝と足の痛み～
講師：井尻 慎一郎医師 参加者29名(聴覚障害者12名)
- ・ 7/26(木) 第171回「旧優生保護法でいわれている強制不妊手術とは？」
講師：藤原 精吾弁護士 参加者42名(聴覚障害者18名)
- ・ 9/9(日) 第172回「糖尿病と食生活について」
～第16回出前“いのち” in丹有(篠山市)～
講師：和久 晋三医師 参加者42名(聴覚障害者13名)
- ・ 11/22(木) 第173回「腸内環境と健康」
講師：高田 千秋氏(ピオフェルミン製薬) 参加者25名(聴覚障害者6名)
- ・ 3/28(木) 第174回「花粉症対策」～耳鼻科からのアドバイス～
講師：西村 一医師 参加者名(聴覚障害者 名)

【評価】

- ・1987年から、保険医協会の協力と兵聴協との連携により31年間継続できています。
- ・旧優生保護法に基づく強制不妊手術に関する学習会を開いた。講師は弁護団団長も務められており、裁判に至ることになった事実や背景なども詳しく学びました。
- ・神戸以外の地域で行う「出前“いのち”」は丹有地域班の協力のもと、篠山市で開催した。講師は、丹有地域での2012年の開催時と同じ医師であり、参加者から「前回よりもろう者に配慮した講演だった」との声が多数ありました。

- ・医療班員の医師と、“いのち”を考える会の講師として招いた医師との、医師同士の情報交換や、講師とろう者との交流もあり、啓発活動につながりました。

イ. 健康相談・血圧チェック・口腔衛生・お薬相談・検査相談コーナー

- ・6/24(日) 第35回兵庫県ろうあ者大会
健康相談(10名)・血圧チェック(34名)・口腔衛生(5名)・お薬相談(1名)
- ・7/1(日) 神戸聴覚特別支援学校同窓会総会
健康相談(5名)・血圧チェック(21名)・口腔衛生(2名)・お薬相談(1名)
- ・9/29(土) 第14回聴覚障害者文化祭
血圧チェック(119名)・お薬相談(9名)・検査相談(0名)
- ・1/20(日) 第45回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい in 宍粟
血圧チェック(34名)・口腔衛生(3名)・お薬相談(0名)
- ・3/10(日) 第38回神戸ろうあ協会 耳の日記念大会(ピフレホール・新長田)
健康相談(5名)・血圧チェック(44名)・お薬相談(0名)・検査相談(0名)

【評価】

- ・ろうあ者大会では医療班コーナーがメイン会場と同じフロアであったので、利用しやすかったと思われず。
- ・神戸聴覚特別支援学校の同窓会では、2017年の同窓会で血圧測定し、血圧が高かったにもかかわらず病院受診を拒んでいた方が、その後病院を受診し服薬していることがわかり、病院受診のきっかけを作ることができました。
- ・検査の結果やそれがもつ意味は個々で大きく異なるため、個別に相談を受けるメリットがあると考え、新たに「検査相談」のコーナーを設けたが、利用者はゼロでした。周知の方法にも問題があったと考えます。
- ・2010年度「血圧チェックコーナー」から始めた活動は、コーナーの幅を広げて対応できるようになった。これらの取り組みは今後も聴覚障害者の健康への関心につながるので、今後とも継続できるように検討します。

【課題】

- ・すべてのコーナーを安定して設けられるように医療関係者仲間の拡充を図ること。
- ・「検査相談」のコーナーの周知の方法。
- ・近畿の医療班とさらに交流を図り、兵庫での活動に活かせるよう情報交換・合同学習会に継続して参加していくこと。

(8) 労働連絡会

- ア. 委員：当法人理事、支援団体の専任通訳者手話協力員、障害者支援専門員、障害者職業相談員
- イ. 会議日程：4月7日(土)・2月23日(土)
- ウ. 参加人数：10名~12名
- エ. 場所：神戸市
- オ. 内容：聴覚障害者を取りまく就労問題について情報を交換
就労問題の解決に向けて労働環境を整備
手話協力員の配置日及び時間体制の情報公開の実施

(9) 手話研究プロジェクト

「兵庫の地名や建物などの手話創作(表現)」を研究及び創作する。

ア. 会議日時：平成30年12月10日、1月12日、2月5日、2月17日

イ. 構成委員：今泉友幸(猪名川)、末吉正朋(伊丹)、村上里美(姫路)、檀上千恵(西宮)、

小川知子（神戸）、清水（神戸）、嘉田眞典（理事、神戸）

ウ. 会議場所：兵庫県聴覚障害者協会事務所分室

エ. 平成29年度活動について、阪神地域（伊丹・猪名川）の地名手話を収録しました。

【参考資料】

1. ひょうご聴覚障害者事業所連絡会

県内の聴覚障害者事業所関係者が集い、文化祭のステージで各作業所より取組みなど紹介発表を行ないました。また、各事業所利用者、職員の交流促進、事業所職員に実践的な知識を習得するための研修会の参加を促し、開催にあたり協力をいただきました。

今後の課題について、全体会議・職員研修等を継続していきたい。

（1）作業所ふれあい交流会

- ・日 時：平成30年9月29日（土）
- ・場 所：神戸市灘区民ホール（大ホール）
- ・報告内容：兵庫県聴覚障害者文化祭のステージによる作業所の紹介等
- ・参加事業所：（たつのこ、神戸ろうあハウス、おのころ、はりま、にしのみや）

（2）職員研修

- ・日 時：平成30年10月21日（土）～22日（日）
- ・場 所：国立大学法人東京学芸大学（東京都）
- ・内 容：第22回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会
全体講演・入門講座・実践交流会（分科会）・なかまのつどい
- ・参加事業所：神戸ろうあハウス、おのころ、たじま、にしのみや

監査報告書

令和元年 5 月 31 日

公益社団兵庫県聴覚障害者協会
理事長 本郷 善通 様

監事 吉野 浩 ⑩
監事 井谷 亮 ⑩
監事 川上 能壽 ⑩

私たち監事は、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1、 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思促通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2、 監査の結果

(1) 事業報告などの監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上